

平成29年度

予算の編成



福岡県 福津市

平成29年度

予算編成手法及び概略について
＜一般会計＞

1 予算編成手法について

本年度は予算編成時期に市長選挙が行われたことから、基本的には新規の施策を見送り、政策的経費を極力抑えた骨格当初予算を編成しました。今回の6月補正予算で肉付けを行うことで、実質の予算となっております。予算編成にあたっては、限られた財源を効率的・効果的に配分するため、以下の手法により行いました。

(1) 行政評価との連動と効率的な事務事業の実施

主たる事務事業について、その行政評価を行い、事業の対象や意図に基づき、その妥当性や効果の検証を行っています。職員自らが常に業務点検と改善を意識するとともに、少ない人員と少ない予算でより高い効果が上げられるよう事業を実施します。また、効果や効率性に乏しい事務事業については、見直しを積極的に進めていきます。

(2) 前総合計画の継承と総合計画実施計画との連動

次期総合計画の準備期間となる平成29年度においては、前総合計画の意思を受け継ぎ継承することを踏まえ、平成28年度に策定した総合計画実施計画との整合性を図ることとします。

また、現下の厳しい経済状況の中、子育て関連経費や高齢化の進展、人口増等に伴う社会保障費等扶助費の増加など社会経済環境の変化にも的確に対応していきます。

(3) 積み上げ型予算編成の徹底と財政健全化の推進

扶助費の増加をはじめ、経常的経費の拡大上昇傾向は続いている状況となっており、ゼロベースからの積み上げ方式により、引き続き各部署内でのコスト意識の向上、経費縮減の取組を図りながら、財源確保と経費精査を行います。

また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率の向上に努めていくとともに、財政健全化判断比率等を含む財政指標を念頭におき財源が厳しい中においても、しっかりとした行政サービスが持続的に提供可能な財政基盤を確立することとします。

2 予算の概略

平成29年度当初予算と6月補正予算の一般会計の総額は、21,650,800千円、前年度に比べ710,738千円、3.4%の増としています。

歳入において、市税は日蒔野地区を中心とした人口増加や新築家屋、マンションの増加傾向を見込み、総額を5,990,622千円、前年度に比べ165,127千円、2.8%の増を見込んでいます。

次に基金繰入金について、前総合計画実施計画に基づく事業へ充当するためのまちづくり基金、小学校校舎施設整備事業等の教育施設の建設費に充当するための教育施設建設準備基金等特定目的基金、その他、扶助費や公債費など義務的経費の増額に伴う財源不足補てん・調整のための財政調整基金を繰り入れて編成しています。

また、地方交付税につきましては、合併算定替えによる一本算定との差額や激変緩和措置による支所経費の加算等による基準財政需要額の増減及び前年度実績額をベースとした地方財政計画における基準財政収入額の伸び率を反映して計上し、対前年度から2.2%の減を見込んだ編成としています。

市債については、福間駅前線街路整備事業債、福間駅前線県営事業債等合併特例債65,900千円、福間駅松原線県営事業債、道路新設改良事業債、橋梁長寿命化事業債、福間駅前線市営事業債等公共事業等債147,700千円、福間小学校大規模改造事業に係る学校教育施設整備事業債32,800千円、その他一般会計出資債152,700千円、防災対策事業債29,400千円緊急防災・減災事業債7,200千円を計上しています。

臨時財政対策債については、今年度も国と地方の折半ルールに基づき、地方交付税の財源不足分を市債に振り替えることになっておりますが、地方財政計画の伸び率を勘案して727,000千円、前年度に比べ7.7%の増としています。

歳出においては、減少した主な要因としまして、事業が完了した庁舎統合整備事業、完了間近となった津屋崎庁舎再生整備事業が減額となったことに伴い、前年度に比べ総務費が1,081,860千円、35.7%減、土木費においては、JR福間駅東口駐輪場整備事業の完了や完了間近となった福間駅前線電線共同溝事業が減額となっており、前年度に比べ102,510千円、5.0%

減となっております。

また、増加した主な要因としましては、民生費において、生活保護費や障害児通所支援事業等の扶助費の増額及び保育所等施設整備のための認可保育所定数確保事業、認定こども園運営事業等増額により前年度に比べ895,285千円、10.5%増としたこと、教育費において、福間小学校大規模改造事業の計上、古墳公園史跡等購入事業の増額に伴い、前年度に比べ901,408千円、51.2%増としたこと、公債費において、主要幹線整備事業及び庁舎統合事業に係る合併特例債の元金償還が始まったことや臨時財政対策債の償還額の増加に伴い、前年度に比べ212,237千円、11.0%の増となっております。

こうした歳入歳出における変動要因により、総額で前年度に比べ710,738千円、3.4%予算規模が増加する結果となっております。

歳 入

まず歳入では、市民税のうち個人については、日蔭野地区等の人口増加による納税者数の増加を見込み、法人については法人税割の税率改正による減収を試算し、市民税総額を2,875,256千円、前年度に比べ84,026千円、3.0%の増、固定資産税については、土地や償却資産は減少したものの、家屋について市内の新築住宅の建設が増加傾向にあること、新築軽減期間の終了により課税額が増加することを見込み、総額を2,650,523千円、前年度に比べ55,523千円、2.1%の増としています。また、軽自動車税については、登録台数の伸びと初年度登録から3年経過する車両への重課の増を見込み、市税全体でみると、総額5,990,622千円、前年度に比べ165,127千円、2.8%の増としています。

地方譲与税は、過去の実績をもとに地方財政計画の伸び率を反映させ、前年度よりも20,000千円増の190,000千円を計上し、11.8%の増としています。

地方交付税は、総務省が示した地方財政対策の概要において、総額で2.2%の減となったことを勘案し、基準財政需要額及び基準財政収入額、合併算定替えの試算結果により、総額を5,044,000千円と見込み、前年度に比べ114,000千円、2.2%の減としています。

次に、国庫支出金においては、生活保護費や障害児通所支援事業等の扶助費の増額に伴う国庫負担金及び保育所等施設整備や古墳公園史跡等購入事業に伴う国庫補助金の増額を含め、総額を3,992,935千円とし、県支出金については、国と同様に障害児通所支援事業等の扶助費の増額に伴う県費負担金の増額、制度改正に伴う乳幼児医療費対象者の拡大分による増額を計上し、総額を1,606,325千円としております。現時点での国県支出金においては、総額を5,599,260千円とし、前年度に比べ956,029千円、20.6%の増としています。

歳 出

目的別にみると、議会費では、議員数の減に伴う議員報酬及び議員共済会負担金等の減額により、総額を205,124千円とし、前年度に比べ10,544千円、4.9%の減としています。

総務費では、庁舎外壁改修工事費18,987千円、コミュニティバス運行委託料39,530千円、基幹系システム更新委託料27,000千円、郷づくり交付金135,663千円、郷づくり拠点整備事業費59,924千円、固定資産現況調査及び固定資産システム評価事業委託料26,871千円を計上していますが、庁舎統合整備事業の完了による417,139千円の減額、津屋崎庁舎再生整備事業の670,406千円の減額の影響により総額を1,949,825千円、前年度に比べ1,081,860千円、35.7%の減としています。

民生費では、国民健康保険特別会計繰出金130,923千円の減額はあるものの、利用者の増加等に伴う利用回数の増加により障害者自立支援給付事業88,876千円の増額、障害児通所支援事業104,916千円の増額、保育所等施設整備補助金272,783千円の計上、私立保育所等の増加による私立保育所・管外保育所保育委託事業54,204千円、認定こども園運営事業135,709千円の増額、対象者数の増加により児童手当支給事業53,220千円、子ども医療費支給事業87,058千円の増額、生活保護扶助費161,167千円の増額を計上し、総額を9,385,561千円、前年度に比べ895,285千円、10.5%の増としています。

衛生費では、新規にB型肝炎予防接種が定期A類とされた個別予防接種事業202,451千円、胃がん・乳がん等各種がん検診事業30,054千円を引き続き計上しており、ごみ処理費の増加に伴う玄界環境組合経常費負担金117,148千円の増額、老朽管更新工事等の実施による宗像地区事務組合に対する出資金42,012千円の増額はあるものの、公債費の償還終了に伴い玄界環境組合の施設整備に係る負担金265,494千円の減額の影響により、総額を2,132,259千円とし、前年度に比べ57,494千円、2.6%の減としています。

農林水産業費では、19,752千円の減額となっているものの活力ある高収益型園芸産地育成事業として先進技術導入や省力機械等の整備に要する経費を補助する16,707千円の予算を計上し、松くい虫防除事業については、引き続き15,578千円の予算を計上し、松林の保全と再生に努めることにしています。また、県営ため池整備事業も25,940千円を計上し、総額を301,733千円とし、前年度に比べ34,503千円、10.3%の減としています。

商工費では、観光産業活性化推進事業について、全国門前町サミットを招致し、九州食の収穫祭とあわせ光の道ウィークに開催するなど、事業の拡充を図るため観光産業活性化協議会補助金9,200千円を増額し、世界遺産の登録をPRするため、観光協会が開催する花火大会の内容充実にかかる補助金1,108千円を増額計上しています。また、伝統文化を継承していくため山笠の保存と後継者の育成に対して津屋崎祇園山笠補助金2,500千円を計上し、買い物支援事業等も合わせて総額で198,601千円とし、前年度に比べ13,033千円、7.0%の増としています。

土木費では、都市基盤並びに生活道路等の整備に取り組んできました。福岡駅前線整備事業、福岡駅松原線整備事業については引き続き県と強く連携をはかり、道路整備事業を一層すすめていくとともに、維持管理事業として道路ストック修繕更新事業20,272千円、橋梁長寿命化修繕事業162,000千円を継続して計上していますが、JR福岡駅東口駐輪場整備事業の完了による90,948千円の減額、福岡駅前線電線共同溝事業233,002千円の減額が影響し、総額を1,959,707千円とし、前年度に比べ102,510千円、5.0%の減で計上しています。

消防費では、女性消防団員のポンプ操法大会事業費 2, 238 千円、福岡県の防災・行政情報通信ネットワーク更新事業に伴い県負担金 3, 753 千円、災害発生時等に長時間停電が発生しても庁舎機能を維持できるよう非常用発電機を整備するための設計委託料 5, 098 千円を新規計上していますが、消防団格納庫建築工事の完了による 46, 951 千円の減額が影響し、総額を 673, 366 千円とし、前年度に比べ 26, 607 千円、3. 8% の減としています。

教育費では、転入者の増加に伴い、児童生徒数も増え、小・中学校の施設や設備の改修・学習環境面での整備が必要なため、福岡小大規模改造事業 496, 410 千円、福岡南小学習環境整備関連事業費 58, 500 千円、福岡中整備基本設計 20, 000 千円、福岡東中排水設備工事の関連費 12, 270 千円を計上しています。また、複合文化センターの開館に伴い指定管理料 102, 600 千円、古墳公園史跡等購入事業では 329, 607 千円、古墳群保存整備事業では工事費を含む 55, 908 千円を計上して総額 2, 663, 011 千円とし、前年度に比べ 901, 408 千円、51. 2% の大幅増としています。

投資的事業において、本年度予算に計上した主な普通建設事業費は、神興東地域の郷づくり活動拠点整備事業 57, 539 千円、認可保育所定数確保事業の保育所施設整備補助金 272, 783 千円、学童保育所整備事業 92, 957 千円、市道維持工事費 44, 674 千円、宮司 28 号線道路改良事業 42, 400 千円、福岡駅前線整備事業 119, 379 千円、福岡駅松原線道路整備事業 99, 238 千円、橋梁長寿命化修繕事業 162, 000 千円、JR 東福岡駅自由通路改修事業 65, 000 千円、福岡小学校の校舎改造を含む小学校施設大規模改造事業 412, 959 千円、小学校学習環境整備事業 59, 485 千円、中学校大規模改造事業 32, 270 千円、古墳公園史跡等購入事業の用地購入及び物件等補償費 311, 042 千円、津屋崎古墳群保存整備事業 54, 678 千円、文化会館改修事業 32, 020 千円を計上しています。

平成29年度

経 営 方 針

総務 部 平成29年度 経営方針(予算編成方針)

課題 No.	1. 部を取り巻く現状と課題・問題点	2. 課題や問題を解決するための方針・重点目標
①	<p>平成18年度に策定した総合計画は平成28年度をもって終了したため、新たな総合計画を策定すべく、平成27年度実施の総合計画における61項目の約束の検証、業務内部評価、分野別検証会議等を踏まえて、平成28年度には、キックオフフォーラムを皮切りに、市民アンケートの実施や郷づくり地域別の意見交換会、分野別ワーキング会議等を実施し、課題の整理を行った。</p>	<p>平成29年度はこれまでの成果を踏まえ、市民参画による会議を開催し、意見を集約した上で、新たに設置する総合計画審議会で、市の将来像や基本計画の審議を行っていただき、中間答申、中間答申の議会説明、広報等を活用したパブコメなど、総合計画策定に係る事務手続きを遅滞なく実施する。 また、福津市総合戦略、公共施設等総合管理計画等との整合を図り、市民の意見を取り入れた総合計画の策定を目指す。</p>
②	<p>「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の構成資産である「新原・奴山古墳群」は、平成29年5月にイコモスから厳しい勧告がなされた。しかしながら、7月の世界遺産登録の可否が決定するまでの間は、国、県、宗像市と共同して出来る最大限の方策を実施する。また、世界遺産への登録が決定されれば、登録活動から保存管理・公開活動に移行することになるため、資産の価値を適切に伝えるための調査や整備を進め、市内外をはじめ、国外に向けたPR活動を行わなければならない。加えて、来訪者の受入体制を整備し、観光資産としても有効に活用するため、現存する自然景観や農水産物等の食文化と組み合わせた総合的な観光施策を推進する必要がある。</p>	<p>世界遺産登録に向けたPR活動(HPの充実、リーフレットの配布、広報紙や新聞等への資産紹介記事の掲載など)をはじめ、ユネスコ大使への直接のPRなどを国、県、宗像市と共同で実施する。また、登録決定後においては、推進会議が主催する記念式典、都心でのシンポジウム、九州国立博物館等での写真展の開催などを通じて国内をはじめ国外に向けたPR活動を行い、来訪者の招致を図る。あわせて、資産や交通アクセス、安全対策等の周辺環境の整備を早急に進めなければならない。また、観光ボランティアとの連携強化等、受入体制の充実化に重点を置き、来訪者の満足度の向上を図らなければならない。</p>
③	<p>将来にわたって活力ある日本社会を目指す「まち・ひと・しごと創生」のもと、策定した福津市総合戦略に掲げる施策を実現するために、観光や一次産業、公共交通など様々なまちづくりに関する市の施策の総合化と官民連携を図るため、多様な関係者の合意形成や必要なデータの継続的収集・分析などを行い、それに基づく戦略的展開、仕組みづくりなどを担う新たな組織を設置する必要がある。</p>	<p>観光と農水産物の関連付けを主に「食」をテーマに、市の観光や農水産業振興施策に総合的に取り組むことと、官民連携により、行政では出来にくい柔軟な経済活動を可能とする組織を設置し、あわせて、市内外に地域資源の魅力を発信し、観光入込客を増やすなど、地域経済の好循環を促し、市内事業者の収益性の向上と雇用機会の拡大を目指す。</p>
④	<p>福岡県は、平成27年2月に筑前海の津波浸水想定を公表し、また、平成29年度には高潮の被害想定を公表する予定としている。災害対策基本法第49条の9は「市町村長は災害時の避難場所や避難経路を示した地図の作成」を努力義務としているが、現在の防災マップは、平成25年に作成したものであり、津波、高潮には対応していない。 また、同法第49条の10においては、災害時に逃げ遅れる可能性のある市民「避難行動要支援者」の名簿の作成を義務付けているが、市はこれまで地域支えあい制度を利用して名簿を作成しているものの、名簿登録者が少ないことが課題となっている。</p>	<p>防災マップを作成するためには、まず避難計画を立案する必要がある。平成29年度予算においてコンサルタント委託料を計上し、避難計画を立案、その後の防災マップ作成に努める。 また、避難行動要支援者名簿に関しては、地域防災計画に定義づけした対象者に、制度の内容を記載した手紙を郵送し、名簿対象者は、地図情報システムに反映させ、有事に備える。</p>
⑤	<p>人口の急増や国・県などからの権限移譲により、事務量が增大している状況にある。 一方、職員数は、合併当時の353人から平成29年度当初においては299人にまで削減しており、職員個々の事務事業量は増加傾向にある。 このような現状のなか、職員の身体及びメンタル面における健康管理は重要な課題となっており、業務体制の改善、職員定数の見直しなどに取組む必要がある。</p>	<p>職員の身体及びメンタル面に関しては、仕事上の悩みのみならず心身上等個人的なことを含めた相談体制として、外部の専門業者に委託しており、これを継続して実施するとともに、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度に関しては、全職員を対象に適切に取り組む。 また、職員定数については、市民200人に対して職員1人を基準に、将来人口や、現在の職員の年齢構成などを勘案しながら、適切な職員定数の管理を行う。</p>

3. 重点目標を達成するため平成29年度に実施する主な細施策・事業

No.	細施策・事務事業名	事業概要	現状値(28年度末時点)	目標値(29年度末)	款・項・目	課題No.
1	総合計画策定事業	市民参画による会議の開催、審議会への諮問答申、中間報告、市民意見公募などを行い総合計画を策定する。	現総合計画の検証、職員によるワーキング会議や幹事会などの設置、市民アンケートの実施、職員提案制度に基づく職員提案など	素案の策定完了	2.1.1	①
2	世界遺産登録事業	新原・奴山古墳群を構成資産とする「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の登録推進活動と登録後の記念式典、シンポジウムなどを福岡県及び宗像市と共同して実施する。また、市独自では周辺環境整備を含め、観光資産としての活用を図る。	5月にイコモスから厳しい勧告内容が示されたが、7月の世界遺産委員会で正式決定	7月に世界遺産委員会による登録決定福岡県、宗像市との共同による記念式典やシンポジウムの開催、国内外に向けてのPR活動の実施	2.1.14 10.6.5	②
3	地方創生促進事業	官民連携による柔軟な経済活動を可能とする組織を設置し、あわせて、市内外に地域資源の魅力を発信し、観光入込客を増やすなど地域経済の好循環を促し、市内事業者の収益性の向上と雇用機会の拡大を目指す。	新たなまちづくり組織設立に関する検討	官民連携による組織の設立に向けた関係者の合意形成	2.1.14	③
4	防災事業	コンサルタントに委託し、津波・高潮の避難計画を作成する。また、地図情報システムに新たに被害想定区域と避難行動要支援者の居住地も反映させる。	海の災害の被害想定区域や避難行動要支援者の居住地に関して地図情報システムに未反映(土砂災害や河川氾濫の想定地域は地図情報システムに反映済み)	地図情報システムへの必要な情報の反映 避難計画の立案	9.1.4	④
5	職員の健康管理事業	ストレス対策として、外部事業者との連携による相談体制の継続及びストレスチェックの実施。職員の定員管理の再検証。	専門業者による相談事業、全職員を対象としたストレスチェックの実施 定員管理に基づき職員数300人にまで削減	全職員のストレスチェック受検及び結果を踏まえた事後対策の実施 職員定数の見直し	2.1.1	⑤

4. 総務部経営資源

◆組織構成

行政経営企画課 ・行政経営係 ・企画係	総務課 ・人事係 ・文書法制係 ・情報管理係	財政課 ・財政係 ・契約検査係 ・管財係	広報秘書課 ・秘書係 ・広報広聴係 ・国際交流係
防災安全課 ・安心安全まちづくり係	世界遺産登録推進室 ・世界遺産登録推進係		

◆職員(H29.4.1時点)

部所属の職員数 総務部 50 人 / 市職員(正規職員) 299 人	配置比率 総務部職員数/市職員数 16.7 %
---------------------------------------	----------------------------

◆予算

計画(部予算額) ・平成29年度総務部予算額	
■一般会計 事務事業費 1,487,034 千円 開かれた議会運営 4,080 千円 人件費 508,504 千円 公債費(起債償還額) 2,143,571 千円 予備費 33,905 千円	

◆決算

実績(部決算額) ・平成27年度総合政策部決算額(歳出)	
■一般会計 事務事業費 2,025,306 千円 開かれた議会運営 4,116 千円 人件費 483,925 千円 公債費(起債償還額) 1,918,158 千円	

市民 部 平成29年度 経営方針(予算編成方針)

課題 No.	1. 部を取り巻く現状と課題・問題点	2. 課題や問題を解決するための方針・重点目標
①	<p>福間駅周辺地区を中心に住宅建設が急増しており、さらに、今年度からサンピア跡地の住宅建築が開始され、家屋評価件数の増大が見込まれる。 市の人口増加に伴い、確定申告や問い合わせ件数等が増加している。</p>	<p>平成28年度に導入した新家屋評価システムを有効に活用し、効率的で適正な評価・賦課に努める。 → 再任用職員の配置を受け、職員の業務の平準化を図り、増加する窓口事務や電話等での親切、丁寧、迅速、正確な対応を目指す。</p>
②	<p>人口増加や新築家屋等の増加で市税等は増加傾向にあるが、歳入の根幹である市税等を的確に把握するとともに、税の公平性からも収納率の一層の向上が必要である。</p>	<p>→ 納付の利便性向上に取り組み、きめ細やかな納税相談と滞納整理の強化に努め、収納率の一層の向上を図る。</p>
③	<p>国民健康保険や公費医療業務において、給付費が年々増加しており、財政基盤の強化・健全化が求められている。 平成30年度からの国民健康保険の財政運営の県単位化に向けた調整業務が必要となっている。</p>	<p>→ 保険事業等特別会計においては、適正で公平な賦課、収納に努めるほか、公費医療においても適正受診の啓発等を行う。 県単位化については、「福津市国民健康保険運営協議会」においても、協議を十分行い、新制度への移行を適切に進めるとともに、市民への周知を行っていく。</p>
④	<p>日本の人口が減少に転じた中、福津市の人口は平成29年3月末で6万2千人を超え現在も伸び続けており、市役所の顔である窓口サービスのより一層の向上及び効率化が求められている。</p>	<p>→ 証明書発行コーナーをはじめ、市民ニーズに対応した窓口サービスを提供するため、運営改善などで、効率的でありながら市民満足度が高い市役所窓口運営を行っていく。 マイナンバー制度への対応としては、平成28年7月に開始したコンビニ交付の周知を行っていく、交付枚数の拡大を図っていく。</p>
⑤	<p>国内では最近の人権侵害に関する問題として、ヘイトスピーチや様々なハラスメントが発生している。また、平成28年に「部落差別解消推進法」が成立し、福津市においても幅広い人権啓発活動が求められている。 平成27年度の住民意識調査の結果を踏まえて、平成28年度に「第2次男女共同参画プラン・ふくつ」を策定した。 今後は、当該プランのさらなる推進を図る必要がある。</p>	<p>→ 「福津市人権擁護に関する条例」等に基づき、あらゆる人権侵害をなくすため国・県と協力し、学校や地域と連携し、人権教育・啓発を推進する。 「第2次男女共同参画プラン・ふくつ」に基づいた広報・啓発活動を広く市民に浸透するために創意工夫をした事業展開を行う。</p>

3. 重点目標を達成するため平成29年度に実施する主な細施策・事業

No.	細施策・事務事業名	事業概要	現状値(28年度末時点)	目標値(29年度末)	款・項・目	課題No.
1	市税等の適正賦課	平成30年度課税対象家屋の的確な把握、適正評価	評価件数 平成28年度 501件	評価件数 平成29年度 600件	2.2.2	①
2	市税等の収納	納付の利便性向上として後期高齢者医療保険料のコンビニ納付の実施	—	コンビニ納付 環境整備完了	後期特別会計 1.2.1	②
3	国民健康保険	平成30年度からの国民健康保険の県単位化に向けた調整業務	運営協議会開催回数 平成28年度 2回	運営協議会開催回数 平成29年度 6回	国保特別会計 1.4.1	③
4	マイナンバーの普及促進	マイナンバーカードの普及促進を図り、コンビニ交付の利用増加につなげる。	マイナンバーカード 交付枚数 5,368枚	マイナンバーカード 交付枚数 10,000枚	2.3.1	④
5	人権啓発	より多くの市民の人権啓発事業への参加を目指した人権講演会等の実施、及び小中学校での人権啓発映画の上映	人権講演会参加者 平成28年度 460人	人権講演会参加者 平成29年度 500人	3.1.3	⑤

4. 市民部経営資源

◆組織構成

市民課 ・市民係 ・市民総合サービス係	保険年金医療課 ・保険年金係 ・医療係	人権政策課 ・人権啓発・市民相談係	男女共同参画推進室 男女共同参画係
税務課 ・市民税係 ・資産税係	収納課 ・収納対策係 ・収税管理係		

◆職員(H29.4.1時点)

部所属の職員数	配置比率
市民部 51 人 / 市職員(正規職員) 299 人	市民部職員数/市職員数 17.1 %

◆予算

計画(部予算額)	
・平成29年度市民部予算額	
■ 一般会計	
事務事業費	1,326,984 千円
人件費	323,394 千円
特別会計繰出金	806,806 千円
■ 国民健康保険事業特別会計総額	8,064,652 千円
■ 後期高齢者医療事業特別会計総額	981,346 千円
■ 住宅新築資金等貸付事業特別会計総額	4,660 千円

◆決算

実績(部決算額)	
・平成27年度市民部決算額(歳出)	
■ 一般会計	
事務事業費	1,778,714 千円
人件費	338,463 千円
特別会計繰出金	905,045 千円
■ 国民健康保険事業特別会計総額	8,025,004 千円
■ 後期高齢者医療事業特別会計総額	876,792 千円
■ 住宅新築資金等貸付事業特別会計総額	5,490 千円

健康福祉 部 平成29年度 経営方針(予算編成方針)

課題 No.	1. 部を取り巻く現状と課題・問題点	2. 課題や問題を解決するための方針・重点目標
①	<p>安心して子どもを生み育てることのできる環境の整備が求められている。特に保育所における待機児童解消のため、認可保育所の定員増などによる保育サービスの量的拡充と児童数の増加に伴う学童保育所の整備が急務となっている。</p>	<p>子ども・子育て支援事業計画における「量の見込みと提供体制の確保の方策」を見直し、待機児童等解消のための施策を緊急に進めていく。</p>
②	<p>団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年に向け、国は介護保険制度の持続可能性の確保と地域包括ケアシステムの構築を基本的な考え方とし、在宅医療・介護連携の強化など地域支援事業の充実、給付の重点化、費用負担の公平化等の実現に向けた方策を示している。</p>	<p>本市においても、高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らせるよう、①介護 ②介護予防 ③医療 ④生活支援 ⑤住まいの5つのサービスを一体化して提供できる地域包括ケアシステムを構築する必要がある。 平成29年度は第7期高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画の最終年度であり、これまでの取り組みを更に進めるとともに、事業実績と地域の現状を踏まえつつ、県の介護保険事業支援計画、医療計画との整合性を図りながら、第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画を策定し、地域包括ケアシステムの構築に向けた着実な取り組みを推進していく。</p>
③	<p>障がい者が自らの望む地域生活を営むことができるよう、「生活」と「就労」に対する支援の一層の充実や障がい児のための通所事業として障がい特性に応じた専門的な支援が身近な地域で利用できるようにすることが求められている。</p>	<p>平成29年度は第4期福津市障がい福祉計画の最終年度であり、計画の目標達成状況や障がい福祉サービスの利用状況、対象者のニーズを把握し、第5期福津市障がい福祉計画を策定し、障害福祉サービスの更なる基盤整備に努める。</p>
④	<p>近年の社会経済構造の変化に対応し、生活保護以外の生活困窮者への支援(第2のセーフティネット)を抜本的に強化することが求められている。生活困窮に至る要因としては、高齢、心身の不調、障がい、引きこもりなど多岐にわたっている。</p>	<p>平成27年4月1日に生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者自立支援事業として、自立相談支援事業等を行い、経済的自立のみならず日常生活自立や社会生活自立など本人の状態に応じた自立を支援する。</p>
⑤	<p>食生活のみだれや運動不足など、長年の生活習慣の積み重ねで起こる生活習慣病の状況にある人が増加している。</p>	<p>生涯を健康で生きがいを持ち安心して暮らせるように、健康ふくつ21計画・食育推進計画の推進に努める。生活習慣病等の早期発見・重症化予防は、健康寿命の延伸や生活の質の向上及び早世の予防のため最も重点を置くべき課題と捉え、健診の受診率の向上を図り、生活習慣病の早期発見と重症化予防に努める。</p>

3. 重点目標を達成するため平成29年度に実施する主な細施策・事業

No.	細施策・事務事業名	事業概要	現状値(28年度末時点)	目標値(29年度末)	款・項・目	課題No.
1-1	認可保育所定数確保事業	保育所への量的・質的ニーズの増大に対応するため、ひがしふくま真愛保育園の移転に伴う整備補助事業(定員20名増員)、花見保育所跡地に市内認可保育所の分園整備(定員40人)を行う。	神興小敷地内に用地整備済 花見保育所解体済	整備完了	3.2.3	①
1-2	学童保育所整備事業	学童保育所の需要増に対応するため、津屋崎小学校の敷地に第3、第4学童保育所を新たに整備する。	—	整備完了	3.2.4	①
2	一般介護予防事業 評価事業 一般事務費	介護保険事業計画の達成状況等の検証を行い、事業評価とニーズ調査の分析結果を反映した計画策定に取り組む。短期間に作成する必要があり専門性の高い業務であることから専門業者に委託し、保健福祉審議会において円滑に計画を策定する。	業務委託契約締結	第8期高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(平成30年度～平成32年度)策定完了	介護特別会計 4.2.1 1.1.1	②
3	障害者計画・障害者福祉計画策定推進事業	国が定めた基本指針に即して、障害者福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保と業務の円滑な実施に関する計画を定める。	—	第5期障がい福祉計画(平成30年度～平成32年度)策定完了	3.1.6	③
4	生活困窮者自立支援事業	相談支援業務、職業紹介業務、住宅確保業務、家計相談業務を行う。	相談件数 平成28年度 873件	生活保護に至る前の段階で、生活困窮状態を改善する。	3.3.1	④
5	特定保健指導事業 特定健康診査事業	民間事業者のノウハウを活用しながら積極的な受診勧奨を行う。また、健診結果に基づき特定保健指導及び生活習慣病重症化予防の保健指導を行う。	平成27年度 法定報告 特定健診受診率 34.7% 特定保健指導実施率 64.4%	特定健診受診率 60% 特定保健指導実施率 60%以上	国保特別会計 8.1.1 8.1.2	⑤

4. 健康福祉部経営資源

◆組織構成

福祉課	こども課	高齢者サービス課	いきいき健康課
<ul style="list-style-type: none"> 福祉総務係 障がい福祉係 生活支援係 生活相談係 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援係 こどもの国推進係 保育所 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉係 介護保険係 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり係 保健指導係

◆職員(H29.4.1時点)

部所属の職員数	配置比率
健康福祉部 75 人 / 市職員(正規職員) 299 人	健康福祉部職員数/市職員数 25.1 %

◆予算

計画(部予算額)
・平成29年度健康福祉部予算額

■ 一般会計 事務事業費	6,577,080 千円
人件費	587,103 千円
特別会計繰出金	717,731 千円
■ 介護保険事業特別会計総額	4,768,915 千円

◆決算

実績(部決算額)
・平成27年度健康福祉部決算額(歳出)

■ 一般会計 事務事業費	5,344,469 千円
人件費	644,965 千円
特別会計繰出金	650,107 千円
■ 介護保険事業特別会計総額	4,337,032 千円

地域振興 部 平成29年度 経営方針(予算編成方針)

課題 No.	1. 部を取り巻く現状と課題・問題点	2. 課題や問題を解決するための方針・重点目標
①	<p>「みんなの力で地域自治をすすめるまち」を確立するため、「郷づくり」の更なる体制拡充と活動拠点の充実を図ることが求められている。</p> <p>そのため、これまでの郷づくりの取組みに対する評価・検証を踏まえ、郷づくり推進協議会の位置付けや役割を明確にしなが、郷づくりの今後の展望、市が期待する地域の役割、地域への支援方針等を体系的に示した分野別計画として、福津市の地域づくり推進の基本的な方針をまとめた「地域づくり基本構想(仮称)」を策定する必要がある。</p>	<p>地域の活性化や課題解決のために欠かせない郷づくり体制の継続・発展を図るため、郷づくり交付金の算定基準改善を実施するとともに、福津市の郷づくりの基本となる「地域づくり基本構想(仮称)」を策定する。</p> <p>また、より充実した活動を展開するため、活動拠点の整備に向け計画的に取り組む。</p>
②	<p>農業・水産業を取り巻く環境が厳しさを増す中、農業においては、農地の集積・集約化や農業後継者・新規就農者の育成を図りながら、活力ある攻めの農業の展開及び農業経営安定化等を図る必要がある。</p> <p>また、漁業においても、後継者不足の解消と経営の安定化を図るため、獲る漁業から育てる漁業への転換、水産物の商品ブランド化など、諸対策を講じなければならない。</p>	<p>農業については、むなかた地域農業活性化機構や宗像農協、県普及センターとの連携による農業施策の展開を図る。また、園芸農業の生産額増大と持続的な発展を図るための補助事業、水田農業の新たな経営安定・発展の取組みに対する補助事業を継続的に行う。</p> <p>漁業においては、引き続き水産振興補助事業を行い、漁業の振興と経営安定化を目指す。特にカキの養殖と商品化に対する支援を強化するとともに、魚センターの経営安定化を図る。</p>
③	<p>宮地嶽神社の「光の道」や新原・奴山古墳群の世界文化遺産国内推薦候補の決定をはじめ、数多く存在する市内の観光資源をさらに広く市内外へ発信し、観光入込客の増加を図るとともに、観光振興と地域活性化を図る必要がある。</p>	<p>世界文化遺産登録を見据えた来訪者の受け入れ体制の充実を図る。また、宮地嶽神社の「光の道」の時期に合わせて、「門前町サミット」と「食の収穫祭」を同時開催し、相乗効果による観光入込客数の増加を図る。さらに、食に関する様々なイベントの実施や福津ブランドの情報発信を行いながら、観光の振興を図る。</p>
④	<p>市の小規模商工業が低迷している現状を踏まえ、プレミアム付商品券の継続実施及び空き店舗の解消や新たな事業者の開業など、市の商工業の活性化を図る必要がある。</p> <p>また、高齢者等の買物弱者対策と地元商店会の振興を目的として平成25年から開始した買物支援宅配サービスモデル事業が、平成29年度末をもって終了するが、買物支援を望む市民の声は多く、平成30年度以降の支援策について調査研究し、方針を決める必要がある。</p>	<p>例年実施しているプレミアム付商品券の発行及び平成27年度の国の地方創生交付金事業で開始した空き店舗等活用事業を継続実施し、空き店舗の解消と地域商工業の活性化を図る。</p> <p>また、買物支援宅配サービスモデル事業の検証結果を参考に次の買物弱者への支援策を調査研究し、今後の方針を決定する。</p>
⑤	<p>宗像地区事務組合所有の「宗像地区し尿処理場」の使用期限が、地元協議の結果、平成36年3月まで延長され、平成37年9月までに施設を解体することが決定した。</p> <p>一方では、公共下水道の整備が順調に進捗し、し尿処理量は年々減少しているものの、下水道区域外のし尿処理は将来的に必要であることから、平成36年度以降の「し尿処理計画」を策定しなければならない。</p>	<p>宗像地区し尿処理場は、地元との協定あるいは施設の老朽化も進み、さらなる使用延長はないという判断のもと、平成36年度以降のし尿処理に関する調査研究を開始し、最も効率的かつ経済的な処理方法を見出すための「し尿処理計画」を策定する。この計画に基づき、現在の施設使用終了前までに、着実に次の処理方法を確立させる。</p>

3. 重点目標を達成するため平成29年度に実施する主な細施策・事業

No.	細施策・事務事業名	事業概要	現状値(28年度末時点)	目標値(29年度末)	款・項・目	課題No.
1	郷づくり推進事業	郷づくり活動体制の拡充及び協議会事務局の体制強化を図るため、郷づくり交付金の算定基準改善を図る。郷づくりの基本となる「地域づくり基本構想(仮称)」を策定する。郷づくり拠点整備を計画的に進め、より充実した活動の展開を図る。	郷づくり交付金 129,477千円 基本構想の骨子策定 神興東拠点用地の選定	郷づくり交付金 135,663千円 基本構想の策定完了 神興東拠点の建設完了	2.1.12	①
2	農業・水産業振興事業	新規就農者を育成支援する青年就農給付事業、活力ある高収益型園芸産地育成事業、力強い水田農業確立事業を継続的に推進し、新規就農者の確保と農業経営の安定化を目指す。魚センターの商品安定化による経営の改善を図るとともに、カキ養殖の規模拡大と商品開発、6次産業化の研究を進め、漁業の経営安定化を目指す。	青年就農給付者 4人 高収益型園芸 3件 力強い水田確立 4件 魚センター経営改善・カキ試験養殖	青年就農給付者 3人 高収益型園芸 2件 力強い水田確立 3件 魚センター経営改善・カキ養殖拡大・商品化	6.1.3 6.3.1	②
3	観光産業活性化推進事業	世界文化遺産登録を見据えた受け入れ態勢として、昨年度に続き「新原奴山古墳群バスツアー」を企画実施する。宮地嶽神社の光の道に合わせた「門前町サミット」と「食の収穫祭」を同時開催し、相乗効果による観光入込客数の増と消費拡大を図る。また、食に関する各種イベントを企画展開し、福津ブランドの情報発信と観光の振興を図る。	27年度実績 入込客数501万人 28年度実績 古墳バスツアー実施 食の収穫祭の実施 食のイベント実施	入込客数550万人 古墳バスツアー企画 門前町サミット・食の収穫祭の実施 食のイベント実施	7.1.3	③
4-1	空き店舗活用事業	平成27年度から取り組む「空き店舗等活用事業補助金交付事業」を継続的に進め、市内の空き店舗解消と新たな店舗開業を促し、地域活性化を図る。事業は店舗改装費と家賃の一部を補助する。	改装費補助 2件 1,636千円 家賃補助 5件 1,242千円	改装費補助 3件 3,000千円 家賃補助 3件 3,000千円	2.1.14	④
4-2	買物支援事業	買物支援宅配サービスモデル事業は最終年度を迎え、来年度からの新たな買物支援策の検討と方針決定を行う。	買物支援事業の検証	新たな買物支援策の方針決定	7.1.2	④
5	し尿処理計画策定事業	現在のし尿処理場が平成36年3月末をもって完全使用停止となることを見据え、早い時期に次なる処理方法の調査研究を行い、その方針を決定するための「し尿処理計画」を策定する。	—	し尿処理計画の策定	4.2.5	⑤

4. 地域振興部経営資源

◆組織構成		
郷づくり支援課 ・郷づくり支援係	地域振興課 ・観光推進係 ・商工・ブランド推進係 ・農林水産振興係	うみがめ課 ・環境づくり係 ・清掃対策係 ・資源リサイクル係
◆職員(H29.4.1時点)		
部所属の職員数 地域振興部 28 人 /	市職員(正規職員) 299 人	配置比率 地域振興部職員数/市職員数 9.4 %
◆予算		◆決算
計画(部予算額) ・平成29年度地域振興部予算額		実績(部決算額) ・平成27年度地域生活部決算額(歳出)
■一般会計 事務事業費 1,819,586 千円 人件費 220,685 千円		■一般会計 事務事業費 2,342,945 千円 人件費 312,673 千円

都市整備 部 平成29年度 経営方針(予算編成方針)

課題 No.	1. 部を取り巻く現状と課題・問題点	2. 課題や問題を解決するための方針・重点目標
①	<p>国道3号と国道495号を新たに結ぶ道路網が未整備で、生活道路への車の流入が増すなか、JR福岡駅を核とした都市計画道路などの道路及び都市施設等の整備を進め、円滑な交通ネットワークを構築して、生活圏への流入を抑える。</p>	<p>→ 市施工部分の整備は完了しており、福岡県施工部分の整備促進を図るため、県との連携を更に強め、積極的な協力と働きかけを行う。</p>
②	<p>② 市内にある多くの橋梁について、公共施設のアセットマネジメントの考え方を導入し、計画的な修繕補修に努めることにより長寿命化を図り、改修・改良等の経費を抑える。</p>	<p>→ 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋梁の維持補修を行う。</p>
③	<p>③ 地域要望に基づき、道路整備長期計画を計画的に実施し、狭隘な道路を拡張整備して、緊急車両の通行を確保するなどの安全で安心な道路行政を進める。</p>	<p>→ 地元要望に基づいた道路整備計画を実施することで、生活環境改善、向上に努める。</p>
④	<p>④ 公共下水道などの生活基盤の整備を特環区域を含め推進し、汚水分については、人口普及率のさらなる向上を図って、「し尿処理施設」等の課題の早期解決を目指す。 また、汚水処理施設の長寿命化についても、計画的に実施し、安全・安心のまちを目指す。</p>	<p>→ 汚水管渠整備については、八並、内殿、畦町地区の整備を進めるとともに、本木地区の実施設計を行う。処理場整備については、福岡浄化センターの污泥処理施設増設工事及び水処理施設増設の実施設計を行う。 また、汚水処理施設の長寿命化事業については、東福岡地区を中心に実施する。</p>
⑤	<p>⑤ 世界遺産への登録候補となっている新原・奴山古墳群を含む多くの歴史遺産や津屋崎千軒に代表される歴史的まちなみ、白砂青松の美しい海岸線などの福津らしい良好な景観を市景観計画に基づき、景観資源として保全・形成し、市民共働による景観づくりを進める。</p>	<p>→ 景観計画や市屋外広告物の取扱いに関する周知に努め、景観形成基準や屋外広告物の許可基準の適正な運用を通じて、市民や事業者による良好な景観形成に向けた協力を得る。 また、特に周辺景観への影響が大きい大規模建築物や公共建築物などについては、景観アドバイザー制度の活用などで、より良い景観の形成を行い、市の良好な景観の保全・誘導を図る。</p>

3. 重点目標を達成するため平成29年度に実施する主な細施策・事業

No.	細施策・事務事業名	事業概要	現状値(28年度末時点)	目標値(29年度末)	款・項・目	課題No.
1	福間駅松原線整備事業 (県営事業)	整備延長560m(片側整備延長1,120m)、現況幅員5mを17mに拡幅整備 用地28筆・補償12件	片側整備延長 310m (計620m/1,120m) 用地0筆(計24/28筆) 補償0件(計9/12件)	片側整備延長 190m (計810m/1,120m) 用地4筆(計28/28筆) 補償3件(計12/12件)	8.4.2	①
2	橋梁長寿命化修繕事業	橋梁長寿命化修繕計画(平成25年度)に基づく橋梁の維持補修 定期点検(対象:N=283橋) 補修等詳細設計(対象:N=61橋) 長寿命化工事(対象:N=61橋)	定期点検 (計138橋/283橋) 詳細設計 (計14橋/61橋) 長寿命化工事 (計7橋/61橋)	定期点検 N=145橋 (計283橋/283橋) 詳細設計 N=5橋 (計19橋/61橋) 長寿命化工事N=4橋 (うち1橋撤去工事) (計11橋/60橋)	8.2.5	②
3	市道整備事業	道路改良事業(道路整備長期計画28路線の整備) その他生活道路改良事業	整備路線1路線 (計23/28路線)	整備工事1路線 (計24/28路線) その他1路線	8.2.4	③
4	下水道管渠整備及び浄化センター増設	汚水管渠整備(八並、内殿、畦町地区の工事、本木地区の実施設計)及び福間浄化センター整備(汚泥処理施設増設工事、水処理施設増設の実施設計)並びに長寿命化事業(東福間、若木台地区の工事)	公共下水道(汚水)の人口普及率 98.2%	公共下水道(汚水)の人口普及率 98.6%	公下事業会計 資本的支出 1.1.1 1.1.2	④
5	景観に関する事務(景観アドバイザー派遣事業、景観届出等受付事務、屋外広告物許可申請等受付事務)	景観条例に基づく届出及び屋外広告物条例に基づく許可申請等の審査過程において、専門家のアドバイスをを行うことにより、景観計画に掲げる市の良好な景観づくりを周知、誘導する。また、屋外広告物条例に違反しているはり札やたて看板などの違反広告物の簡易除却を実施し良好な住環境の形成を目指す。	景観審議会開催回数 0回 景観アドバイザー会議開催回数 4回 違反広告物の簡易除却実施回数 27回	景観審議会開催回数 1回 景観アドバイザー会議開催回数 2回 違反広告物の簡易除却実施回数 25回	8.4.1	⑤

4. 都市整備部経営資源

◆組織構成

都市管理課
 ・計画係
 ・開発建築係
 ・定住化促進係
 ・維持管理係

建設課
 ・建設係
 ・用地係
 ・農林水産施設整備係

下水道課
 ・経営係
 ・施設整備係
 ・維持係

◆職員(H29.4.1時点)

部所属の職員数
 都市整備部
 37 人 / 299 人

配置比率
 都市整備部職員数/市職員数
 12.4 %

◆予算

計画(部予算額)
 ・平成29年度都市整備部予算額

■ 一般会計	
事務事業費	1,917,341 千円
人件費	227,088 千円
特別会計繰出金	- 千円
■ 公共下水道事業会計総額	
収益的収入	2,026,363 千円
収益的支出	1,906,641 千円
資本的収入	671,131 千円
資本的支出	1,189,127 千円

◆決算

実績(部決算額)
 ・平成27年度都市整備部決算額(歳出)

■ 一般会計	
事務事業費	1,099,542 千円
人件費	199,205 千円
特別会計繰出金	527,032 千円
■ 公共下水道事業特別会計総額	
	3,261,761 千円

教育 部 平成29年度 経営方針(予算編成方針)

課題 No.	1. 部を取り巻く現状と課題・問題点	2. 課題や問題を解決するための方針・重点目標
①	<p>「次世代の学校・地域」創生プランには、「1億総活躍社会の実現・社会創生の推進」という目標像を掲げ、①地域と学校の連携・協働に向けた改革(コミュニティ・スクール(CS)・地域学校協働活動の推進)、②学校の組織運営改革、③教員制度の一体的改革等の内容が盛り込まれている。文部科学省は、学校を核として地域社会を活性化するために、学校・地域それぞれの視点に立ち、「次世代の学校・地域」が両輪となった体系的な施策の展開を示している。</p>	<p>福津市では、知・徳・体の調和がとれ、基礎的・基本的な学力に加え、社会人基礎力や公共心、郷土愛、ボランティア精神に溢れ、グローバル社会や高度情報化社会などを「生き抜く力」をもった子どもの育成のために、郷育カレッジ、郷づくり推進協議会や関係機関と連携、共働しながらCSを推進している。平成29年度は「次世代の学校・地域」創生プランを踏まえ、「地域とともにある学校づくり」を進めるために、小中連携のもと、CSをより一層深化・充実させる。</p>
②	<p>新原・奴山古墳群は、世界文化遺産への登録活動にあたって、史跡地の公有化や史跡整備など、喫緊の課題を有している。 また、世界文化遺産登録を間近に控え来訪者の急増が見込まれるなか、公開活用及び史跡保存の両面で来訪者を誘導する散策路、サイン看板や展望所等の整備について早急な対応を迫られている。</p>	<p>新原・奴山古墳群については、市内外を問わず訪れる人々がその歴史的価値や重要性を再認識し、自然や歴史・文化を満喫できるように史跡地の公有化と史跡整備を進めている。急増する来訪者に対応するために、誘導・解説サインの設置、展望所等の整備に継続して取り組む。 また、史跡整備にあたっては、資産の眺望や周辺景観との調和が重視されており、世界遺産として相応しい内容を検討し整備を行う。</p>
③	<p>市の学校施設は、築30年を経過したものがほとんどであり、特に、経年劣化が進み、児童生徒の安全確保に支障をきたす施設は、早急な改善が必要である。 また、戸建住宅やマンション等の集合住宅の建設が進み、今後も児童生徒数の増加が予測される。安全・安心な施設環境の確保、急激な児童生徒数増加に伴う「教育環境の整備」が目下の急務である。</p>	<p>児童生徒の学習環境の改善を目的として、学校施設の改修・改築に向けた基本設計や改修・改築工事等を実施する。学校施設の整備にあたっては、文部科学省の学校施設整備指針や学校施設の長寿命化方針、福津市の長寿命化計画や公共施設等総合管理計画を踏まえるとともに、学校施設の実態(安全性、快適性、学習活動や環境への適応性)や将来の児童生徒数等を見極め、総合的に判断する。</p>
④	<p>グローバル社会、知識基盤社会や情報技術の飛躍的発展など変化の激しい社会の中で、力強く生き抜いていくためには、高い志や意欲を持ち、他者と協働しながら未来を創り出し、課題を解決する力が必要となる。学校には、新しい時代の子どもたちに必要な資質・能力を育むために、教育活動の更なる充実が求められている。学校全体の総合力や教育の質を高めるためには、学校運営体制の強化や確かな学力の向上に対して戦略的に取り組む必要がある。</p>	<p>指導主事を中心に、各種研修会の開催、学力向上への指導支援、定期学校訪問等を通じて、学校の経営力・授業力の向上を図る。 また、「次世代の学校・地域」創生プランを踏まえ、教育の質を高めたり、社会に開かれた教育課程を進めたりするためには、教員の負担をできるだけ軽減し、子どもと向き合う時間を確保する必要がある。 そこで、CSの推進とともに学校の課題に対応できる専門スタッフを配置するなど、教育活動へのサポート体制を充実する。</p>
⑤	<p>地域の歴史や風土、史跡等の情報や魅力を市内外に発信したり、読書習慣の定着化を図ったりするなど、市民の幅広い文化関連活動の推進や地域の賑わいの創出を目的とした複合文化センター(図書・歴史資料館)がグランドオープンする。図書館を心の拠点とした賑わいづくり、市民ボランティアとの連携や、気軽に来館でき、学習室やカフェがあり、のんびりと過ごすことができる滞在型図書・歴史資料館としての運営を行う必要がある。</p>	<p>文化芸術や生涯学習の種をまき育てる文化会館、市民の暮らしに役立つ図書館、ふくつの歴史・文化を発信し地域の魅力を再発見できる歴史資料館としての機能が発揮できるように、先進事例や民間のノウハウを活用するとともに、ボランティア団体や関係機関と連携・共働しながら、市民に、愛され、親しまれ、市民とともに進化し続ける複合文化センターを目指す。</p>

3. 重点目標を達成するため平成29年度に実施する主な細施策・事業

No.	細施策・事務事業名	事業概要	現状値(28年度末時点)	目標値(29年度末)	款・項・目	課題No.
1	地域とともにある学校づくり(CSの深化・充実)	学校、家庭、地域が連携・共働して取り組む「特色ある教育活動事業」や地域との関わりを視点とした「土曜日授業」を実施する。 学校運営協議会を活性化させるために、福津市CSフォーラムを開催する。 津屋崎中ブロックの小・中学校3校において「CS研究発表会」を実施する。	夢や目標をもつ子ども(中3)の割合 74.6% 中学生による地域貢献活動への参加(延べ数)3,257人	夢や目標をもつ子ども(中3)の割合 75.0% 中学生による地域貢献活動への参加(延べ数)2,500人	10.1.2	①
2	津屋崎古墳群の保存管理	古墳公園史跡等購入事業は、史跡地(6,000㎡)の購入等を進める。 津屋崎古墳群保存整備事業では、来訪者のための誘導・解説サインの設置や展望所等の整備を継続実施する。	史跡地の公有化率 59.6%	史跡地の公有化率 63% 整備完了	10.6.5	②
3	教育環境(学校施設)の整備	小学校施設大規模改造事業(福間小教室棟改築工事、津屋崎小プール濾過器改修工事等)を実施する。 小学校学習環境施設整備事業として、福間南小(教室棟)の設計監理、設置工事及び運動場の改修工事等を実施する。	—	事業・整備完了(一部継続事業)	10.2.3	③
4	教育の質の向上	福津市学力向上スタンダードを徹底・機能化させるとともに、授業改善への支援、各種研修会や学級アセスメント事業(Q-Uテスト)などを実施し、確かな学力の育成、親和的な学級集団の形成、いじめの未然防止などを図る。また、ICT支援員、スクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフを配置し、学校教育活動(児童生徒、教職員や保護者)を支援する。	小中の教科区分における市の平均が全国平均を上回った割合 75.0% 自分には良いところがあると思う子ども(中3)の割合 65.3%	小中の教科区分における市の平均が全国平均を上回った割合 100% 自分には良いところがあると思う子ども(中3)の割合 70.0%	10.1.2	④
5	複合文化センターの運営	複合文化センターは、市民が自ら学び成長していくことを応援する、地域の活性化につながるなど市民の役に立ち市民が楽しめる施設運営を行う。オープニングセレモニー、記念式典・記念講演の開催。文化事業として、各種コンサート、映画上映会、市民参加型のワークショップなどを実施。読書推進事業として、講演会、おはなし会、映画上映会などの事業や展示企画、各種セミナーなどを開催する。	—	図書・歴史資料館の開館(7月) 年間利用者数 10万人以上 基本・年度協定等に基づく事業の実施	10.6.4	⑤

4. 教育部経営資源

◆組織構成			
学校教育課 ・学務係 ・保健給食係 ・教育指導係 ・小学校 ・中学校 ・幼稚園	教育総務課 ・総務企画係 ・教育施設係 ・文化財係 ・史跡整備係	郷育推進課 ・郷育係 ・スポーツ文化振興係 ・公民館 ・図書館	
◆職員(H29.4.1時点)			
部所属の職員数		配置比率	
教育部	市職員(正規職員)	教育部職員数/市職員数	
44 人	299 人	14.7 %	
◆予算		◆決算	
計画(部予算額)		実績(部決算額)	
・平成29年度教育部予算額		・平成27年度教育部決算額(歳出)	
■ 一般会計 事務事業費 <u>2,210,214 千円</u> 人件費 <u>416,421 千円</u>		■ 一般会計 事務事業費 <u>1,561,462 千円</u> 人件費 <u>305,618 千円</u>	

議会事務局

議会事務局経営資源

◆組織構成			
議事課 ・議事係 ・調査広報係			
◆職員(H29.4.1時点)			
局所属の職員数		配置比率	
議会事務局	市職員(正規職員)	議会事務局職員数/市職員数	
5 人	299 人	1.7 %	
◆予算		◆決算	
計画(局予算額)		実績(局決算額)	
・平成29年度議会事務局予算額		・平成27年度議会事務局決算額(歳出)	
■一般会計		■一般会計	
開かれた議会運営		開かれた議会運営	181,016 千円
	158,409 千円	人件費	48,690 千円
	46,770 千円		

監査事務局

監査事務局経営資源

◆組織構成			
監査事務局 ・監査係			
◆職員(H29.4.1時点)			
局所属の職員数		配置比率	
監査事務局	市職員(正規職員)	監査事務局職員数/市職員数	
2 人	299 人	0.7 %	
◆予算		◆決算	
計画(局予算額)		実績(局決算額)	
・平成29年度監査事務局予算額		・平成27年度監査事務局決算額(歳出)	
■一般会計		■一般会計	
事務事業費		事務事業費	2,251 千円
	2,647 千円	人件費	27,354 千円
	27,781 千円		

農業委員会事務局

農業委員会事務局経営資源

◆組織構成													
農業委員会事務局													
◆職員(H29.4.1時点)													
局所属の職員数 農業委員会事務局 市職員(正規職員) 3 人 / 299 人	配置比率 農業委員会事務局職員数/市職員数 1.0 %												
◆予算	◆決算												
計画(局予算額) ・平成29年度農業委員会事務局予算額	実績(局決算額) ・平成27年度農業委員会事務局決算額(歳出)												
<table border="1"> <tr> <td>■ 一般会計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務事業費</td> <td>11,360 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>29,346 千円</td> </tr> </table>	■ 一般会計		事務事業費	11,360 千円	人件費	29,346 千円	<table border="1"> <tr> <td>■ 一般会計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務事業費</td> <td>10,541 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>28,732 千円</td> </tr> </table>	■ 一般会計		事務事業費	10,541 千円	人件費	28,732 千円
■ 一般会計													
事務事業費	11,360 千円												
人件費	29,346 千円												
■ 一般会計													
事務事業費	10,541 千円												
人件費	28,732 千円												

会計課

会計課経営資源

◆組織構成													
会計課 ・審査係													
◆職員(H29.4.1時点)													
課所属の職員数 会計課 市職員(正規職員) 4 人 / 299 人	配置比率 会計課職員数/市職員数 1.3 %												
◆予算	◆決算												
計画(課予算額) ・平成29年度会計課予算額	実績(課決算額) ・平成27年度会計課決算額(歳出)												
<table border="1"> <tr> <td>■ 一般会計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務事業費</td> <td>9,919 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>37,041 千円</td> </tr> </table>	■ 一般会計		事務事業費	9,919 千円	人件費	37,041 千円	<table border="1"> <tr> <td>■ 一般会計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務事業費</td> <td>8,737 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>45,590 千円</td> </tr> </table>	■ 一般会計		事務事業費	8,737 千円	人件費	45,590 千円
■ 一般会計													
事務事業費	9,919 千円												
人件費	37,041 千円												
■ 一般会計													
事務事業費	8,737 千円												
人件費	45,590 千円												

平成29年度

主要事業の概要

<一般会計>

平成29年度一般会計予算

課室名：総務課

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位：千円)

事業名		職員管理費(職員研修事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,773	2,490					2,490
(事業内容の説明)						
<p>様々な市民ニーズに対応するためには、個々の職員の業務スキルの向上やモチベーションの高揚、職責に応じた役割などを習得させることが必要になる。そのために新任職員をはじめ、一般職員、係長、課長等の階層別研修を研修機関を活用して行うとともに、業務に必要な知識を習得させるため専門研修や政策課題研修などを積極的に受講させる。また、全職員を対象としたメンタル対応力研修等を行い、職員全体の能力向上や意識の高揚に努め、職員の育成を図る。</p>						
【予算の状況】						(単位：千円)
科目等	内容	金額	備考			
報償費	講師謝金	200	各種職員研修(庁内)の講師謝金			
旅費	特別研修旅費	1,026	職員研修所、市町村アカデミー等への旅費			
負担金	市町村アカデミー負担金	46	3人分			
	職員研修所負担金	1,064	106人分			
	国際文化アカデミー負担金	52	2人分			
	職員研修負担金	102	新規採用職員接遇研修分			
合計		2,490				
<その他財源の内訳>						

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位：千円)

事業名		職員管理費(健康管理事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,672	5,569					5,569
(事業内容の説明)						
<p>職員の身体面の管理として健康診断、またメンタル面の管理として、外部事業者との連携による相談体制の継続及びストレスチェックを実施する。併せて、産業医による定例健康相談も計画的に実施する。</p>						
【予算の状況】						(単位：千円)
科目等	内容	金額	備考			
報酬	産業医報酬	600				
	嘱託医師報酬	100	職員ストレス診断面接指導医			
委託料	職員健康診断委託料	4,412	総合健診、VDT・腫瘍マーカー検査			
	職員ストレス診断委託料	457				
合計		5,569				
<その他財源の内訳>						

平成29年度一般会計予算

課室名：総務課

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 電子計算費

(単位：千円)

事業名	電算システム維持管理事業費（基幹系システム更新事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
0	27,000				27,000

(事業内容の説明)

現在運用している基幹系システムは、前回更新から6年をむかえるので、安定稼働を図るため、ハードウェア部分を中心に更新を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	基幹系システム更新委託料	27,000	ハードウェア更新
	合計	27,000	

<その他財源の内訳>

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 電子計算費

(単位：千円)

事業名	電算システム整備事業費（社会保障・税番号制度整備事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
36,343	17,316	5,451			11,865

(事業内容の説明)

社会保障・税番号（マイナンバー）制度に対応できるように、基幹系システムの改修などを行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	基幹系システムプログラム改修委託料	10,206	住民基本台帳システム、税務システム、介護保険システム外9システム
負担金	地方公共団体情報システム機構負担金	2,110	自治体中間サーバープラットフォーム運用・調整経費に対する負担金
交付金	通知カード・個人番号カード関連事務費交付金	5,000	マイナンバーカード、通知カード作成、送付等の経費に対する交付金
	合計	17,316	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：行政経営企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 1. 一般管理費

(単位：千円)

事業名	行政経営推進事業費（総合計画策定事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
16,555	9,788				9,788

(事業内容の説明)

次期総合計画の策定に向けて総合計画審議会を設置し、次期政策・施策等に関する調査や審議を行う。

※総合計画策定業務委託料は、7,236千円の他に前年度から4,428千円の繰越あり

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	総合計画策定審議会委員報酬	1,494	
報償費	助言者謝金	230	
旅費	総合計画策定審議会委員費用弁償	620	
	普通旅費	179	職員旅費（計画策定に関する協議等）
需用費	事務用品費	29	審議会運営用事務用品代
委託料	総合計画策定業務委託料	7,236	
合計		9,788	

<その他財源の内訳>

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 5. 財産管理費

(単位：千円)

事業名	共働のふるさとづくり寄附金事業費（共働のふるさとづくり寄附金促進事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
5,583	23,039				23,039

(事業内容の説明)

関東圏を中心に全国から寄附金を募り、寄付者に対して返礼品を提供する。返礼品は、寄附金額の約30%相当の地元特産品（福津の極み等）とし、市の特産品PRや市内事業者の売り上げ向上をあわせて狙う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	記念品代	15,000	ふるさと寄附金寄付者お礼 3,000円×5,000人
役務費	通信運搬費	410	受領証郵送費 82円×5,000人
	インターネット公金收受手数料	540	寄附金見込み額 50,000,000円×1%×1.08
委託料	ふるさと納税包括業務委託料	7,020	トラストバンク包括委託 50,000,000円×13%×1.08
使用料及び賃借料	インターネット公金收受システム使用料	69	公金支払システム使用料 月額5,250円×12月×1.08
合計		23,039	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：行政経営企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 5. 財産管理費

(単位：千円)

事業名	企業センター管理事業費（企業センター管理事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	1,360				1,360	0

(事業内容の説明)

旧津屋崎庁舎3階を改修し、スモールオフィス及びサテライトオフィスとして貸付を行い、共用部分のトイレ・廊下等を管理する。

また、スモールオフィスについて、賃貸借契約の締結と通常の事務室内の管理業務を委託する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	スモールオフィス管理事務委託料	203	
	企業センター管理事業費負担金	1,157	
	合計	1,360	

<その他財源の内訳>

事務所貸付収入

1,360 千円

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 6. 企画費

(単位：千円)

事業名	住みよいまちづくり推進企画活動支援事業費（住みよいまちづくり推進企画活動補助事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,272	1,272					1,272

(事業内容の説明)

市内で活動している団体に補助金を交付して活動を支援することで、地域の課題を解決し、あわせて、参画する市民を増やし、自立した団体へと育成支援することを目指す。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	指導者謝金	40	審査委員長謝金 20,000円×1人×2回
	協力者謝金	32	市民協力者謝金 8,000円×2人×2回
負担金・補助及び交付金	住みよいまちづくり推進企画活動補助金	1,200	住みよいまちづくり企画活動補助金
	合計	1,272	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：行政経営企画課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 13. 庁舎統合費

(単位：千円)

事業名	津屋崎庁舎再生整備事業費 (津屋崎庁舎再生整備事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
682,222	11,816				1,200 10,616

(事業内容の説明)

庁舎統合後の津屋崎庁舎について、市民生活の拠点となり、賑わいを生む施設とするため、津屋崎庁舎再生整備計画に基づき、図書館・歴史資料館等の複合施設として再生整備を実施する。

※平成28～29年度 (継続費)

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	歴史資料展示品製作委託料	10,616	
工事請負費	サイン設置工事費	1,200	自動車誘導系サイン板面変更工事
	合計	11,816	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

1,200 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：財政課

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 5. 財産管理費

(単位：千円)

事業名	庁舎管理事業費（職員駐車場整備事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	11,054				11,000	54

(事業内容の説明)

来庁者用駐車場不足を解消し、市民サービスの利便性向上を図るため、代替として新たに借り上げた民有地（中央2丁目3442番1）を職員駐車場として整備する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	駐車場整備工事費	11,054	職員駐車場借上げ地（中央2丁目3442番1） 整備工事費
	合計	11,054	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 11,000 千円

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 5. 財産管理費

(単位：千円)

事業名	庁舎改修事業費（庁舎改修事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,596	18,987				18,900	87

(事業内容の説明)

平成27年度に実施した赤外線システムと打診による外壁調査の結果を受け、落下危険度の高い壁面を中心に改修工事を行い、人的被害等の未然防止を図る。

- ・本館南面・・・タイルひび割れ、浮き等の補修工事(平成29年度実施予定分)
- ・本館西面・・・ 同上 (平成28年度実施済)

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	庁舎改修工事費	18,987	本館外壁改修工事
	合計	18,987	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 18,900 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：財政課

(款) 8. 土木費

(項) 5. 住宅費

(目) 1. 住宅管理費

(単位：千円)

事業名	市営住宅管理運営事業費（市営住宅改修事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
0	4,725				4,700 25

(事業内容の説明)

五反田団地各戸に設置されている給湯器について、市営住宅長寿命化計画に基づき取替工事を行うもの。

対象は、団地建設当初から一度も取替えを行っておらず設置から20年以上経過している給湯器35台とする。

・ $125,000 \times 35 \times 1.08 = 4,725,000$ 円

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	市営住宅改修工事費	4,725	五反田団地 給湯器取替工事
	合計	4,725	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

4,700 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：広報秘書課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 2. 文書広報費

(単位：千円)

事業名	広報事業費(広報誌発行事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,470	17,335				381	16,954

(事業内容の説明)

行政が行っている事業等について、市民への理解を高め行政事務の円滑化を目的として、広報ふくつを毎月1日、15日に発行し、市政情報の提供を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	16	職員普通旅費
需用費	事務用品費	20	事務用品費
	印刷製本費	16,812	広報誌印刷製本費
	機械器具修繕料	30	機械器具修繕料
委託料	配送業務委託料	59	広報誌配送業務委託料
使用料及び賃借料	パソコン賃借料	179	パソコン賃借料
	電算ソフト使用料	197	電算ソフト使用料
備品購入費	雑品購入費	22	雑品購入費
合計		17,335	

<その他財源の内訳>

広報誌掲載負担金(宗像地区事務組合) 381千円

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 2. 文書広報費

(単位：千円)

事業名	広報事業費(福津市宣伝広報事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,820	3,300				1,040	2,260

(事業内容の説明)

世界文化遺産登録推進活動やマスコミからの要請など、様々な場面で市をPRする機会が増加し、またその必要性が高まっている。

市の魅力発信の充実は重要になってきており、各部署ごとの既存事業に加えて新規事業など、多角的な分野でのPR活動について、統括的な視点から効率的、効果的な事業展開を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	1,040	消耗品費(年賀はがき)
	印刷製本費	260	世界遺産年賀はがき印刷製本費
役務費	広告料	2,000	広告料
合計		3,300	

<その他財源の内訳>

福津市グッズ等売払収入(世界遺産年賀はがき) 1,040千円

平成29年度一般会計予算

課室名：広報秘書課

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 企画費

(単位：千円)

事業名	国際交流事業費 (海外表敬訪問団歓迎事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
393	393				393

(事業内容の説明)

民間の国際交流団体である日韓慶福交流会は、平成10年からこれまでの間交流を継続し、毎年春には福津市から慶州市へ、秋には慶州市から福津市を訪問されている。互いの交流を深める活動をしている団体を、来福の際に市としても温かく迎え、その活動を補助することで、国際文化交流や相互理解を深める一助となることを目的としている。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	食糧費	33	食糧費
使用料及び賃借料	バス借上料	360	バス借上料
	合 計	393	

<その他財源の内訳>

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 電子計算費

(単位：千円)

事業名	ホームページ管理運営事業費 (公式ホームページ運営事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
5,470	5,470				432 5,038

(事業内容の説明)

行政案内、各種手続き、観光情報、行事の案内等をインターネット上で閲覧できるようにしており、最新の市政情報を市内外に情報発信を行う。併せて、議会議事録、郷づくり等ウェブサイトの一元保守を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	ホームページ更新委託料	5,470	ホームページ更新委託料
	合 計	5,470	

<その他財源の内訳>

ホームページ広告料 (バナー広告) 432 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：世界遺産登録推進室

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 14. 地方創生事業費

(単位：千円)

事業名	地方創生事業費（地方創生推進事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
0	16,639	7,535			9,104

(事業内容の説明)

世界遺産登録を契機に、地域の活力と賑わいのあるまちづくりを目指すため、情報誌等を活用した観光PRや展望所での観光案内を実施し、登録直後に急増する来訪者対応のための安全対策や交通対策も併せて実施する。また、登録記念式典など、登録イベントを世界遺産推進会議を中心に実施する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	999	登録・周知活動用物資購入
役務費	広告料	1,000	新聞・情報誌等広告料、番組企画協賛料
	機器機材運搬手数料	160	登録記念イベント時機器機材運搬手数料
委託料	バス運行業務委託料	1,935	シャトルバス(タクシー)運行委託料
	駐車場整理業務委託料	6,922	展望所駐車場等整理
	展望所観光案内業務委託料	510	観光案内業務
	看板作製委託料	243	世界遺産登録看板作製委託料
負担金	世界遺産登録準備負担金	4,870	世界遺産推進会議負担金
合計		16,639	

<その他財源の内訳>

(款) 10. 教育費

(項) 6. 社会教育費

(目) 5. 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	世界遺産登録活動事業費（世界遺産登録周知活動事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
0	1,180				1,180

(事業内容の説明)

新原・奴山古墳群を中心に「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の資産価値などについて市民をはじめ、多くの人々に広く周知する事業を実施する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	印刷製本費	441	広報折込チラシ作成
役務費	広告折込手数料	212	広告折込手数料
工事請負費	看板設置工事費	527	サイン改修工事費
合計		1,180	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：世界遺産登録推進室

(款) 10. 教育費

(項) 6. 社会教育費

(目) 5. 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	世界遺産登録活動事業費（世界遺産登録活動事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
114	28,490				9,100	19,390

(事業内容の説明)

新原・奴山古墳群を構成資産とする「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を世界文化遺産の登録を受けるための活動を行い、登録を受けた後は、記念イベントや公開活用活動について福岡県及び宗像市と共同して実施します。また、来訪者対策として、サイン整備や警備員の配置などを実施するとともに「古墳馬車」の運行を開始し、来訪者が満足できる環境づくりを進めます。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
賃金	臨時雇賃金	1,536	6,400円×240日
旅費	普通旅費	450	普通旅費
旅費	特別調査旅費	320	特別調査旅費
需用費	消耗品費	10	消耗品費
	事務用品費	10	事務用品費
	食糧費	20	
役務費	機器機材運搬手数料	140	機器機材運搬費
	資機材等運搬手数料	130	資機材等運搬費
	公有物件災害共済掛金	1	仮設ユニットハウス共済掛金
	損害賠償保険料	130	馬車車両保険料
委託料	新原・奴山古墳群観光事業委託料	234	馬車運行開始記念イベント経費
	バス運行委託料	432	ジャンボタクシー運行委託料
	駐車場整理業務委託料	1,496	駐車場整理業務
	展望所観光案内業務委託料	72	観光案内業務
	看板作製委託料	166	説明サイン作成業務
使用料及び賃借料	ユニットハウス借上料	128	仮設ユニットハウス借上料
	土地借上料	114	視点場土地借上料
	駐車場使用料	4	駐車場使用料
工事請負費	サイン設置工事費	8,578	サイン設置
	電気設備工事費	170	仮設ユニットハウス電気設備工事
	車止め設置工事費	684	車止め設置
負担金・補助及び交付金	世界遺産登録準備負担金	13,665	世界遺産登録準備負担金
合 計		28,490	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

9,100 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：防災安全課

(款) 9. 消防費

(項) 1. 消防費

(目) 1. 非常備消防費

(単位：千円)

事業名	消防団活動事業費（消防団装備充実化事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
805	3,197				3,197

(事業内容の説明)

消防団員の装備充実を図る経費。約30着の防火衣を購入し、火災現場での事故防止に努める。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	2,452	防火衣
備品購入費	消防用品購入費	730	
公課費	電波利用料	15	
	合計	3,197	

<その他財源の内訳>

(款) 9. 消防費

(項) 1. 消防費

(目) 2. 消防施設費

(単位：千円)

事業名	消防施設等整備事業費（消防格納庫整備事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
50,050	800				800

(事業内容の説明)

第11分団（畦町）格納庫の水洗化工事

8

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	下水道接続工事費	800	
	合計	800	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：防災安全課

(款) 9. 消防費

(項) 1. 消防費

(目) 4. 災害対策費

(単位：千円)

事業名	災害対策事業費（福岡県防災・行政情報ネットワーク更新事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
3,753	3,753			3,700	53

(事業内容の説明)

福岡県と県下の市町村等が災害時に情報を共有するための通信システム。その再整備にかかる費用の負担金

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金	福岡県防災・行政情報通信ネットワーク再整備事業負担金	3,753	
	合計	3,753	

<その他財源の内訳>

(款) 9. 消防費

(項) 1. 消防費

(目) 4. 災害対策費

(単位：千円)

事業名	防災事業費（防災事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
6,363	11,825			3,500	8,325

(事業内容の説明)

災害備蓄品（食料・飲料水）の購入
庁舎の非常用発電機整備にかかる基本設計及び実施設計委託料
津波避難計画策定委託料

375

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	742	防災関係消耗品
役務費	通信運搬費	985	
委託料	庁舎非常用発電機設計委託料	5,098	
	防災関係マニュアル作成委託料	5,000	
	合計	11,825	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：市民課

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 電子計算費

(単位：千円)

事業名	電算システム維持管理事業費（統合型地図情報システム更新事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
0	1,002				1,002

(事業内容の説明)

転入・転居時の住所設定には行政区、隣組の決定が必須であるため、確認資料として行政区分布図を使用している。この分布図は平成21年度に作成された紙ベースのものであるため破損が激しく、また、新規開発等の情報は反映されていないため職員が手書きで書き加えている。そこで、地図情報システムを利用して行政区・隣組を表示し、緊急時も含め全職員が活用できるようにする。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	統合型地図情報システム整備業務委託料	1,002	
	合計	1,002	

<その他財源の内訳>

(款) 2. 総務費 (項) 3. 戸籍住民基本台帳費 (目) 1. 戸籍住民基本台帳費

(単位：千円)

事業名	戸籍住民基本台帳一般管理費（戸籍住民基本台帳一般事務費<窓口業務委託料>）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
12,271	12,271			12,271	0

(事業内容の説明)

日蔭野地域をはじめ市内の開発・宅地化による住民異動件数の増加、それに伴う住民票や印鑑証明書等の発行数の増加により窓口業務改善の必要性が生じていた。そこで窓口業務の一つである各種証明書発行等に人材派遣を導入して行政事務の効率化を図り、市民サービスの向上に努める。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	窓口業務委託料	12,271	
	合計	12,271	

<その他財源の内訳>

印鑑証明手数料 6,098 千円

住民票手数料 6,173 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：市民課

(款) 2. 総務費 (項) 3. 戸籍住民基本台帳費 (目) 1. 戸籍住民基本台帳費

(単位：千円)

事業名		戸籍住民基本台帳一般事務費（コンビニ交付事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	3,072				2,622	450

(事業内容の説明)

市民の利便性向上、多様化する市民ニーズに応えるためマイナンバーカードを利用したコンビニ交付を開始して住民票等の諸証明の交付を行う。

今年度より対象コンビニを1事業者追加して5事業所となったことで、利用拡大が期待される。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	38	テスト交付 250円×5枚×5店舗×6回
役務費	コンビニ交付手数料	334	115円×2900枚
負担・補助及び交付金	地方公共団体情報システム機構負担金	2,700	人口15万人未満一律
	合計	3,072	

<その他財源の内訳>

印鑑証明手数料 417 千円

住民票手数料 2,205 千円

(款) 2. 総務費 (項) 3. 戸籍住民基本台帳費 (目) 2. 住居表示事業費

(単位：千円)

事業名		住居表示事業費（住居表示維持管理事務）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,808	1,977					1,977

(事業内容の説明)

住居表示整備を実施した地区について、整備実施後8～10年サイクルで維持管理を行う事業。

表示板の脱落等による張替や住宅の建設・解体等による住居番号の整備や現状にあった住居表示台帳の作成を行うことによってやさしいまちづくりを維持する。

平成29年度は、中央1～6丁目地区・手光南1～2丁目地区（147街区、1700戸）の維持管理を実施する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	住居表示維持管理業務委託料	1,977	
	合計	1,977	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：保険年金医療課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 8. 重度障害者医療費

(単位：千円)

事業名	重度障害者医療費支給事業費（重度障害者医療費支給事業（単独分））					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,874	6,740					6,740

(事業内容の説明)

身体障害者手帳1・2級所持者、知的障害者、重複障害者、精神障害者保健福祉手帳1級所持者で、所得判定により県の制度に該当しない人を対象に、医療費の自己負担額の一部を助成する市単独の事業。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
扶助費	重度障害者医療費	6,740	所得判定による非該当者分
	合計	6,740	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費

(項) 2. 児童福祉費

(目) 5. 子ども医療費

(単位：千円)

事業名	子ども医療費支給事業費（子ども医療費支給事業（単独分））					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
65,737	33,445					33,445

(事業内容の説明)

所得判定により県の制度に該当しない未就学児及び小学生、並びに県の補助対象ではない中学生が対象。小学校6年生まで（外来及び入院）、中学校3年生まで（入院のみ）の子どもを対象とした、医療費の自己負担額の一部を助成する市単独の事業。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
扶助費	子ども医療費	33,445	3歳～小6の所得超過者、及び中学生(H28事業名称:乳幼児・子ども医療費)
	合計	33,445	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：税務課

(款) 2. 総務費

(項) 2. 徴税費

(目) 2. 賦課徴収費

(単位：千円)

事業名	固定資産税課税事務費（固定資産評価替事業・臨時分）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
13,990	32,077				32,077

(事業内容の説明)

3年ごとの評価替基準年度の前年度に実施。土地評価補足資料作成。土地見直しによる路線番号登録。家屋評価替補足資料作成。航空写真の撮影及び写真地図作成。土地地目判読照合。土地下落修正。経年異動修正。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	固定資産現況調査及びシステム評価事業委託料	26,871	土地地目判読照合・土地下落修正・経年異動修正
	システムエンジニア委託料	1,593	土地評価資料作成・土地見直しによる路線番号登録・家屋評価補足資料作成
負担金・補助及び交付金	固定資産評価替合同業務負担金	3,613	航空写真の撮影及び写真地図作成
	合計	32,077	

<その他財源の内訳>

(款) 2. 総務費

(項) 2. 徴税費

(目) 2. 賦課徴収費

(単位：千円)

事業名	固定資産税課税事務費（固定資産課税システム改修事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
0	3,510				3,510

(事業内容の説明)

所有権移転した不動産の固定資産評価額を県に対し通知する価格通知書。これまでエクセル入力して作成していたものをシステムから抽出して作成する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	システムエンジニア委託料	3,510	
	合計	3,510	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：人権政策課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 3. 人権対策費

(単位：千円)

事業名	人権対策一般管理費（人権対策補助事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
7,800	7,800				7,800

(事業内容の説明)

本市の人権・同和行政の円滑な推進を図り、人権・同和问题早期解決の実現に寄与する人権・同和関係運動団体に対し、その活動を支援するために事業費の一部を補助金として交付する事業。

対象となる運動団体は、部落解放同盟宗像地区協議会、全日本同和会福岡県連合会宗像支部、宗像地域人権運動連合会である。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
補助金	人権対策補助金	7,800	活動費、事務費、大会費、研修費等
	合計	7,800	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：男女共同参画推進室

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 10. 男女共同参画推進事業費

(単位：千円)

事業名	男女共同参画推進事業費（男女共同参画相談事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
949	954				954

(事業内容の説明)

DV、セクシュアル・ハラスメントなどの女性の人権に関する問題解決のため、女性弁護士による「女性のための法律相談」を年4回実施し、暴力や虐待を許さない環境づくりを推進する。女性を対象とした悩みを何でも相談できる「ふくつ女性ホットライン」（電話相談窓口）を「かすや地区女性ホットライン」と共同で設置。専門の相談員が対応し、相談者のニーズに応じた適切な情報提供を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	指導者謝金	20	DV被害者支援等に関する指導助言
	相談員謝金	160	女性のため法律相談（4回/年）
委託料	電話相談業務委託料	774	ふくつ女性ホットライン
	合計	954	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	社会福祉協議会費 (社会福祉協議会活動助成事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
45,619	45,712				45,712

(事業内容の説明)

社会福祉協議会とは、社会福祉法第109条第1項各号に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体である。社会福祉協議会が行う社会福祉事業は、地方自治法第232条の2に規定する公益上必要な事業であり、この補助金は、社会福祉法第58条第1項による社会福祉法人に対する必要な助成として交付する。さらに同法第6条では、福祉サービスの提供体制の確保等に関する地方公共団体の責務が規定されており、福津市社会福祉法人の助成に関する条例及び規則に基づき交付する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	社会福祉協議会補助金	45,712	運営費補助 43,219
			小地域社協組織化事業 160
			心配ごと相談事業 383
			民生委員活動費補助事業 1,290
			遺家族援護事業 660
	合計	45,712	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 1. 社会福祉総務費

(単位：千円)

事業名	地域自殺対策強化基金事業費 (自殺対策事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
33	33		16		17

(事業内容の説明)

自殺予防対策として、人材養成事業を強化し、自殺予防に努める。一般市民等を対象に、自殺しようとする人に気づき、傾聴し、専門機関へとつなげることができる人材(ゲートキーパー)を養成する研修を実施する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	講師謝金	20	
需用費	事務用品費	13	
	合計	33	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：福祉課

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 6. 障害者対策費

(単位：千円)

事業名	障害者自立支援事業費 (自立支援給付事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
850,527	939,403	469,381	234,690			235,332

(事業内容の説明)

障害者総合支援法に基づく、各事業所で行われている直接的な介護や就労支援などの障害者福祉サービスを支給するための事業。介護給付、訓練給付、地域相談支援給付、計画相談支援給付がある。障がいの種類にかかわらず、利用者のニーズにあった支援給付を実施。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
役務費	自立支援給付費審査支払手数料	640	自立支援給付費審査支払手数料
扶助費	障害者自立支援給付費	938,763	障害者自立支援給付費
	合 計	939,403	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 6. 障害者対策費

(単位：千円)

事業名	障害者自立支援事業費 (障害者虐待防止対策事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,158	3,158	98	49			3,011

(事業内容の説明)

障害者虐待防止法第32条に基づく市町村障害者虐待防止センターの機能は①通報又は届出の受理②相談、指導及び助言③虐待の防止や養護者に対する支援に関する広報その他の啓発活動となっている。市が直営でセンター機能を果たしていくためには担当部局に専門的に従事する専門的知識や経験を有する職員の配置が必要となるが、適切な虐待対応協力者に業務委託することで必要な人材を確保し適切な事務運営の確保を図る。

また、虐待を受けた障害者の保護や権利擁護に係る法的な問題の処理等について専門的助言を受けるため虐待対応の専門家チームに派遣要請ができるようにあらかじめ委託する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	障害者虐待防止チーム費用弁償	11	障害者虐待防止チーム費用弁償
役務費	通信運搬費	60	通信運搬費
委託料	障害者虐待防止センター業務委託料	3,000	障害者虐待防止センター業務委託料
	障害者虐待防止対応チーム派遣委託料	87	障害者虐待防止対応チーム派遣委託料
	合 計	3,158	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：福祉課

(款) 3. 民生費 (項) 3. 生活保護費 (目) 1. 生活保護費

(単位：千円)

事業名	生活保護一般管理費（就労支援職業カウンセリング事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,013	3,798	2,847				951

【事業内容の説明】

生活保護法（昭和25年法律第144号）第4条に規定される補足性の原理に基づき、稼働年齢層の被保護者が稼働能力を有する場合はその能力を活用することが求められている。そのため、当該被保護者を対象として、キャリアコンサルタント等の専門的な資格を有する職業カウンセラーにより、自立・就労支援プログラムの策定や実施に係る必要な技術的な支援を行い、生活保護受給世帯の自立に向けた取り組みを促進する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	就労支援職業カウンセリング事業委託料	3,798	
	合計	3,798	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費 (項) 3. 生活保護費 (目) 1. 生活保護費

(単位：千円)

事業名	生活困窮者自立支援事業費（生活困窮者自立支援事業<就労支援準備事業>）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,614	2,584	1,936				648

【事業内容の説明】

平成27年4月生活困窮者自立支援法施行に伴い、必須事業である自立相談支援事業を開始。生活保護になる前段階の市民に対し、自立を促すため、さまざまな生活の困り事や悩み事の相談への対応や助言、他機関との連携のほか、就労希望者への職業カウンセリング等を組み合わせた包括的支援を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	15	
旅費	研修旅費	173	研修、同行支援等
需用費	消耗品費	20	
役務費	傷害保険料	8	就労体験等
委託料	生活困窮者就労支援員配置業務委託料	2,367	
使用料及び賃借料	有料道路使用料	1	
	合計	2,584	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：福祉課

(款) 3. 民生費

(項) 3. 生活保護費

(目) 1. 生活保護費

(単位：千円)

事業名	生活困窮者自立支援事業費（生活困窮者自立支援事業＜家計相談支援事業＞）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
600	511	255			256

(事業内容の説明)

自立相談支援を行うにあたり、家計に何らかの問題を抱えている相談者を対象に、必要な情報提供や債務整理の助言など、専門的支援を行うことで、相談者自身の家計を管理する力を高め、早期の生活再生をめざす。

平成27年4月1日に生活困窮者自立支援法が施行されたことにより、平成28年度から継続実施している。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	家計相談支援員配置業務委託料	511	
	合計	511	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：高齢者サービス課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 5. 高齢者福祉費

(単位：千円)

事業名	高齢者福祉一般管理費（シルバー人材センター活動支援事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
12,886	12,886				12,886

(事業内容の説明)

福津市シルバー人材センターの活動に対して補助金を交付し、高齢者の社会参加、就労機会の拡大を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	福岡県シルバー人材センター連合会負担金	160	県シルバー人材センター会費
	福津市シルバー人材センター補助金	12,726	
	合 計	12,886	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 5. 高齢者福祉費

(単位：千円)

事業名	高齢者福祉一般管理費（市民後見推進事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
2,473	1,673		1,199		474

(事業内容の説明)

成年後見制度の新たな担い手を増やすため、弁護士等の専門職後見人以外の市民後見人を養成するとともに、地域における市民後見人の活動を推進する。

市民後見人が安心、安定して活動できるよう、市民後見人登録者を対象にしたフォローアップ研修、損害賠償補償保険への加入、成年後見運営委員会の開催など、市社会福祉協議会に事業を委託して実施する。平成28年度に市民後見人養成講座を実施、平成29年度は実施なし。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	市民後見推進事業委託料	1,673	
	合 計	1,673	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：高齢者サービス課

(款) 3. 民生費

(項) 1. 社会福祉費

(目) 5. 高齢者福祉費

(単位：千円)

事業名	在宅福祉一般事業費（緊急通報システム事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
2,318	1,765				1,765

(事業内容の説明)

1人暮らし等の高齢者（心臓疾患や脳血管疾患など発作を伴う病歴がある人）等の自宅に緊急通報装置を設置し、緊急時の通報に看護師や相談員が受信センターにて24時間対応する事業。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	緊急通報システム業務委託料	1,765	
	合計	1,765	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：こども課

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位：千円)

事業名		相談体制整備事業費(家庭児童相談室運営事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,404	8,514	3,216	2,012			3,286
(事業内容の説明)						
<p>子どもに関する心配事や悩みに対し、面談、電話で相談を受ける。また、家庭訪問をし、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスの提供につなげるとともに、虐待防止につなげる。</p> <p>家庭児童相談員兼母子父子自立支援員 4人</p>						
【予算の状況】						(単位：千円)
科目等	内容	金額	備考			
報酬	家庭児童相談員・母子自立支援員報酬	8,352	家庭児童相談員174,000円×4人×12月			
旅費	家庭児童相談員・母子自立支援員費用弁償	73	研修、連絡会議等			
	研修旅費	15	担当職員研修旅費			
需用費	事務用品費	30	事務用品費			
役務費	自動車損害共済保険料	15	自動車損害共済保険料			
負担金・補助及び交付金	職員研修負担金	13	職員研修負担金			
	福岡県家庭相談員連絡協議会負担金	16	福岡県家庭児童相談員連絡協議会負担金			
合計		8,514				
<その他財源の内訳>						

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位：千円)

事業名		児童手当支給事業費(児童手当支給事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,046,177	1,099,397	769,814	164,100			165,483
(事業内容の説明)						
<p>中学校修了前までの児童を養育している人に支給する手当(所得制限有)。3歳未満は1人につき月額15,000円、3歳から小学校修了前の第1子・第2子については月額10,000円(第3子以降は15,000円)、中学生は月額10,000円を支給する。所得制限を超えている場合は、特例給付となり月額5,000円となる。</p>						
【予算の状況】						(単位：千円)
科目等	内容	金額	備考			
旅費	普通旅費	4	説明会出席旅費(県庁等)			
需用費	事務用品費	8	事務用品費			
	印刷製本費	34	圧着ハガキ15,000枚			
役務費	通信運搬費	1,336	郵便料			
扶助費	児童手当	1,098,015				
合計		1,099,397				
<その他財源の内訳>						

平成29年度一般会計予算

課室名：こども課

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位：千円)

事業名	病児保育事業費(病児保育事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,302	18,164	5,831	5,831			6,502

(事業内容の説明)

病気の回復期にあり集団保育の困難な乳幼児等の保育を一時的に行う事業(病後児対応型)を宗像市と福津市の構成による広域事業として宗像医師会への委託形式で実施し、事業主体(宗像市)に負担金を支出する。

病気の回復期に至っていない乳幼児等の保育を一時的に行う事業(病児対応型)を実施している市内の事業者に対し補助金を交付する。

病児保育を行う事業所 2病院

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	病児病後児保育事業負担金	670	病後児保育事業負担金
	病児病後児保育事業補助金	17,494	病児保育事業補助金
	合計	18,164	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 3. 保育園費

(単位：千円)

事業名	私立保育所・管外保育所保育委託事業費(私立保育所・管外保育所保育委託事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,154,623	1,208,827	478,840	239,420		249,233	241,334

(事業内容の説明)

認可保育所、地域型保育事業所(小規模保育所、事業所内保育所)に保育を必要とする子どもの保育の実施を委託し、国の基準により算定した施設型給付費を支給する。

私立保育所 7園

小規模保育所 6園

事業所内保育所 1園

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	私立保育所運営委託料	1,208,827	認可保育所、地域型保育施設
	合計	1,208,827	

<その他財源の内訳>

保育所保育料

249,233 千円

認可保育所のみ

平成29年度一般会計予算

課室名：こども課

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 3. 保育園費

(単位：千円)

事業名		特別保育事業費（保育士宿舎借り上げ支援事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	6,750	4,500				2,250

(事業内容の説明)

待機児童対策の一環として、各保育所の保育士確保を支援する事業。
 法人が保育士の宿舎として市内の住居を借り上げ、その家賃を負担する場合、当該家賃について予算の範囲内で補助をする。対象保育士は、市内認可保育所（地域型保育事業所を含む。）に正規職員として勤務する10年以内の保育士とする。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	保育士宿舎借り上げ支援事業補助金	6,750	保育士宿舎借り上げ支援事業補助金（50,000円×15人×9か月）
	合計	6,750	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 3. 保育園費

(単位：千円)

事業名		認可保育所運営事業費（認可保育所定数確保事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
114,139	289,763	249,421	3,473		30,300	6,569

(事業内容の説明)

保育所の量的、質的ニーズの増大に対応するため、保育所定員数を確保することと、老朽化した施設の建替整備に対する補助を行い、保育を必要とする子どもの保護者の両立支援及び子育て支援を図る。
 施設整備による定数増60人

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	私立保育所運営委託料	13,893	分園運営費委託料
使用料及び賃借料	保育所保育室リース料	3,087	大和保育所保育室リース料
負担金・補助及び交付金	保育所施設整備補助金	272,783	ひがしふくま真愛保育園、分園
	合計	289,763	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 30,300 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：こども課

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 3. 保育園費

(単位：千円)

事業名	認定こども園運営事業費(認定こども園運営事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
126,668	262,377	105,938	78,219			78,220

(事業内容の説明)

認定こども園(保育認定を受けた子どもと教育認定を受けた子どもが入所できる施設。)に対し、国の基準により算定した施設型給付費を支給する。

市内の認定こども園：幼稚園型2園

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	認定こども園運営委託料	262,377	
	合計	262,377	

<その他財源の内訳>

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 4. 学童保育所費

(単位：千円)

事業名	学童保育所管理運営費(学童保育所管理運営事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
67,205	78,211	25,861	22,302			30,048

(事業内容の説明)

保護者の就労等により放課後の家庭が留守等の状態となっている児童(原則小学校低学年の児童)の健全育成を図るために設置されている学童保育所の管理運営に要する経費。

(学童保育所 8箇所15室、障害児受入加算 7箇所13室)

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	施設修繕料	338	学童保育所修繕料
役務費	公有物件災害共済掛金	85	学童保育所災害共済掛金
委託料	障害児支援業務委託料	15,260	障害児受入加算(13箇所)及び支援事業
	学童保育運営委託料	7,740	福岡南しんあい児童クラブ(民設)
	学童保育所指定管理料	51,115	各学童保育所運営委員会(5団体:6箇所)
負担金・補助及び交付金	学童保育所運営費補助金	3,673	勝浦小学童保育所
	合計	78,211	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：こども課

(款) 3. 民生費

(項) 2. 児童福祉費

(目) 4. 学童保育所費

(単位：千円)

事業名	学童保育所管理運営費(学童保育所整備事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
84,322	97,930	34,284	8,900		49,300	5,446

(事業内容の説明)

老朽化した既存学童保育所の施設整備・改修工事等を実施し、環境改善を図る。津屋崎学童保育所第3、第4を新設することにより待機児童の解消を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	施設修繕料	2,199	津屋崎小学童、神興東小学童
役務費	水道開閉栓手数料	5	2箇所分(上西郷小・津屋崎小)
委託料	学童保育所設計監理委託料	7,344	津屋崎学童保育所第3,第4設計管理委託
工事請負費	学童保育所建築工事費	80,644	津屋崎学童新築整備工事
	学童保育所改修工事費	3,672	津屋崎学童空調改修工事
	給排水設備工事費	692	上西郷学童水道接続工事
備品購入費	机購入費	911	津小学童第3,第4開設備品(机類)
	椅子購入費	507	津小学童第3,第4開設備品(椅子類)
	箱棚購入費	208	津小学童第3,第4開設備品(棚類)
	厨房具購入費	400	津小学童第3,第4開設備品(冷蔵庫)
	室内調度器具雑品購入費	476	津小学童第3,第4開設備品(什器,電気製品)
	印刷複写機類購入費	34	津小学童第3,第4開設備品(プリンター)
	電子計算機購入費	189	津小学童第3,第4開設備品(パソコン)
電気通信機器購入費	44	津小学童第3,第4開設備品(FAX電話機)	
負担金・補助及び交付金	水道加入負担金	605	2箇所分(上西郷小・津屋崎小)
合計		97,930	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

49,300 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：こども課

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 6. FUCSTA (フクスタ) 事業費
(単位：千円)

事業名	地域子育て支援センター事業費 (地域子育て支援センター事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,769	10,192	2,772	2,772			4,648
(事業内容の説明)						
<p>子育て支援センター「なかよし」を中心に、親子が一緒に遊び、交流し、学べる場所を設置。子育て支援・子育て情報・子育てに関する講座などを行う。電話・面接等の育児相談対応、情報提供、保育所・幼稚園との連携事業、地域サロン、育児サークル支援、おもちゃ病院連携、ほっとタイム事業等。</p>						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
報酬	保育士報酬	9,058	育児相談、育児講座等従事			
共済費	労災保険料	35	非常勤職員労災保険料			
報償費	講師謝金	351	子育て講座・フォローアップ講座・その他講座等			
旅費	普通旅費	10	職員旅費 (クローパンプラザ等)			
需用費	消耗品費	246	消耗品費			
	管理用品費	8	管理用品費			
	事務機器修繕料	33	パフォーマンスチャージ料			
役務費	医薬材料費	4	傷薬等			
	通信運搬費	132	電話代			
使用料及び賃借料	クリーニング料	41	クリーニング料			
	ファックス・コピー機賃借料	56	コピー機リース代			
原材料費	保育所原材料費	29	砂場用砂代			
備品購入費	衛生医療器具購入費	189	空気清浄機、ベビースケール			
合計		10,192				
<その他財源の内訳>						

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 6. FUCSTA (フクスタ) 事業費
(単位：千円)

事業名	ファミリー・サポート・センター事業費 (ファミリー・サポート・センター事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,337	2,324	779	779			766
(事業内容の説明)						
<p>育児の援助を行いたい人 (おまかせ会員) と育児の援助を受けたい人 (おねがい会員) を会員登録し、会員同士の子育て援助活動を支援する。会員の募集、講習会の開催、会員相互の交流会の開催、会員間の援助活動の調整を行う。</p>						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
報酬	保育士報酬	33	会員養成講習会保育士			
	子育て支援センター指導員報酬	2,088	子育て支援センター指導員報酬			
報償費	講師謝金	30	会員養成講習会			
旅費	普通旅費	2	職員旅費 (県庁等)			
需用費	消耗品費	35	事務用品費			
役務費	通信運搬費	48	電話代			
	傷害保険料	88	傷害保険料			
合計		2,324				
<その他財源の内訳>						

平成29年度一般会計予算

課室名：こども課

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 6. FUCSTA (フクスタ) 事業費
(単位：千円)

事業名		児童センター事業費 (児童センター事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,453	10,474					10,474
(事業内容の説明)						
「フクスタ」は、小中高生の自主性を育む児童センターとしての役割、次世代の人材を育成する役割、施設の有効利用を図る目的等を有することから、運営に携わる指導員やスタッフ等の充実に努め、利用者である小中高生が主体となる各種事業等を企画・実施している。						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
報酬	児童センター指導員報酬	2,088	児童センター指導員報酬			
	児童センター長報酬	2,088	発達支援センター長報酬			
	管理人報酬	6,058	監視スタッフ給料			
共済費	労災保険料	35	非常勤職員労災保険料			
報償費	講師謝金	25	イベント時講師謝金			
需用費	消耗品費	180	フクスタクラブ必要物品、イベント時消耗品代			
合計		10,474				
<その他財源の内訳>						

(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 7. 発達支援センター事業費
(単位：千円)

事業名		発達支援センター事業費 (発達支援センター事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,963	17,271					17,271
(事業内容の説明)						
発達支援が必要な子どもとその保護者に、早期介入・療育支援を行う。または支援児に関わる保護者や関係者を対象に、発達相談や巡回相談を実施する。特に、ことばやコミュニケーション行動になんらかの困難がある子どもに対しては「S・S・T (ソーシャル・スキル・トレーニング) ルーム」「スマイルクラブ」で個別指導や集団指導を行う。また、市内の保育施設及び学校への巡回発達相談を行い、職員のスキルアップ指導等を実施する。						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
報酬	のびのび発達支援センター指導員報酬	2,400	発達支援センター指導員報酬			
共済費	労災保険料	8	非常勤職員労災保険料			
報償費	講師謝金	585	「ほっとタイム」講師・保育士謝金			
	指導者謝金	140	「ノーバディズ・パーフェクト・プログラム」謝金			
	相談員謝金	4,540	相談事業従事者 (臨床心理士等) 謝金			
需用費	消耗品費	147	知能検査用紙・作業用紙代等			
	事務用品費	57	事務用品代			
	事務機器修繕料	38	パフォーマンスチャージ料			
役務費	通信運搬費	144	電話・FAX代			
	広告料	7	言語聴覚士会求人会報・HP掲載料			
委託料	幼児育成指導事業委託料	9,110	スマイルクラブ・SST事業委託料			
備品購入費	電子計算機購入費	95	ノートパソコン購入費			
合計		17,271				
<その他財源の内訳>						

平成29年度一般会計予算

課室名：いきいき健康課

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 予防費

(単位：千円)

事業名	母子相談事業費(妊産婦健診事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
57,961	61,892				61,892

(事業内容の説明)

母子ともに健全な状態で妊娠、分娩を行うことができるよう母子健康手帳および妊婦健診補助券を交付し、すべての妊婦が妊婦健診を受けることができるようにするもの。

妊婦一般健康診査について14回分

妊娠期の歯周病等の予防のため妊婦歯科健診費用の1回分を助成

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	4	
	研修旅費	6	
需用費	消耗品費	169	
	印刷製本費	24	
委託料	母子保健事業委託料	60,644	
扶助費	妊婦健康診査費	1,045	
合計		61,892	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：いきいき健康課

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 予防費

(単位：千円)

事業名	予防接種事業費(個別予防接種事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
174,920	202,451				202,451

(事業内容の説明)

予防接種により市民全体の免疫水準を維持し、罹患または重症化を防ぐことを目的としている。予防接種の安定的な機会と一定の接種率を確保するために予防接種にかかる費用の負担と普及啓発を行う。

乳幼児等：12種類

妊娠を希望する女性とそのパートナー：風疹

高齢者：インフルエンザ、高齢者肺炎球菌

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
賃金	臨時雇賃金	538	
旅費	研修旅費	2	
需用費	消耗品費	99	
	事務用品費	15	
	印刷製本費	262	
役務費	通信運搬費	344	
委託料	二種混合予防接種委託料	2,125	
	日本脳炎予防接種委託料	31,289	
	風しん予防接種委託料	395	
	麻しん予防接種委託料	15	
	インフルエンザ [※] 予防接種委託料	33,912	
	麻しん・風しん混合予防接種委託料	14,028	
	不可問診分委託料	176	
	乳児BCG予防接種委託料	4,881	
	肺炎球菌予防接種委託料	4,553	
	Hibワクチン予防接種委託料	22,593	
	小児用肺炎球菌予防接種委託料	31,032	
	子宮頸がん(HPV)ワクチン予防接種委託料	248	
	不活化ポリオワクチン接種委託料	873	
	四種混合予防接種委託料	29,944	
水痘予防接種委託料	11,248		
B型肝炎予防接種委託料	13,439		
償還金・利子及び割引料	予防接種自己負担金償還金	440	
合 計		202,451	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：いきいき健康課

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 健康づくり対策費

(単位：千円)

事業名	健診・保健指導事業費 (がん検診事業及びがん検診推進事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
30,526	30,054	197			29,857

(事業内容の説明)

「がん」の早期発見、早期治療により、死亡率を低下させること、またQOL (生活の質) を保つことを目的に、20歳以上の女性を対象とした子宮頸がん検診、30歳以上を対象とした胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、40歳以上の女性を対象とした乳がん検診 (マンモグラフィ)、50歳～74歳の前立腺がん検診 (男性のみ) を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	7	
	印刷製本費	42	
役務費	通信運搬費	50	
委託料	子宮がん検診委託料	5,442	
	胃がん検診委託料	11,057	
	前立腺がん検診委託料	1,214	
	大腸がん検診委託料	3,762	
	乳がん検診委託料	7,156	
	肺がん検診委託料	1,322	
償還金	がん検診自己負担金返還金	2	
	合計	30,054	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：うみがめ課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 6. 環境保全対策費

(単位：千円)

事業名		環境保全事業費（共働型）（エコショップ認定事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
160	260					260

(事業内容の説明)

商品の簡易包装の推進やレジ袋削減のためのマイバック持参推進運動に取り組むなど、環境に配慮する市内事業所や小売店をエコショップとして認定し、市民に周知することで3Rの推進を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	エコショップ推進委員会委員報酬	69	エコショップ推進委員会委員報酬
報償費	記念品代	3	エコショップキャラクター名称公募記念品
旅費	エコショップ推進委員会委員費用弁償	28	エコショップ推進委員会委員費用弁償
需用費	消耗品費	160	のぼり代、ステッカー代等
	合計	260	

<その他財源の内訳>

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃総務費

(単位：千円)

事業名		清掃総務一般管理費（不法投棄監視事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,370	1,288					1,288

(事業内容の説明)

不法投棄ごみの収集を実施。

11の自治会に監視パトロールを委託、不法投棄防止活動を地域とともに実施。

併せて不法投棄防止看板を作成し、啓発を図るもの。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需要費	印刷製本費	198	不法投棄禁止看板
役務費	ごみ収集運搬手数料	308	22 t 分
委託料	不法投棄監視委託料	660	11自治会
	不法投棄回収委託料	122	15台分
	合計	1,288	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：うみがめ課

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃総務費

(単位：千円)

事業名	清掃総務一般管理費（下水汚泥リサイクル事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
268	100				100

(事業内容の説明)

下水汚泥を原材料に堆肥化した肥料は、農用地の育成に高い効果があるといわれている。下水汚泥は基本的に熔融処理をしているが、堆肥化に比べると処理に多額の経費を要する。そこで本市の農用地にて堆肥の実証実験を行い、農業振興、将来的下水汚泥処分費用の軽減、リサイクル推進の可否について実証実験を行うもの。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	4	職員旅費（県外）
需用費	消耗品費	21	堆肥・フレコンパック
役務費	資機材等運搬手数料	33	大型車による運搬
	肥料散布手数料	38	2,000m ²
使用料及び賃借料	有料道路使用料	4	佐賀大和までの往復
	合計	100	

<その他財源の内訳>

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃総務費

(単位：千円)

事業名	清掃総務一般管理費（一般廃棄物処理基本計画策定事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
0	1,500				1,500

(事業内容の説明)

一般廃棄物処理基本計画は法律の改正や実情にあわせるため、10年を目処に見直しを行っている。

将来の福津市の計画もさることながら、専門性の高い分析等も必要なため、専門的知識を有するコンサルタント会社に組成調査と分析について委託するものである。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	一般廃棄物処理基本計画策定委託料	1,500	組成調査と分析のみ
	合計	1,500	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：うみがめ課

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 1. 清掃総務費

(単位：千円)

事業名	し尿処理対策事業費（し尿処理計画策定事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	5,150	0	0	0	0	5,150

(事業内容の説明)

現在の宗像地区事務組合し尿処理場が、平成36年3月末を以って操業停止されることに備え、今後の残汲み取りし尿の効果的かつ経済的な処理方法の調査・検討を行い、その方針を決定するための「し尿処理計画」を策定する。

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	し尿処理施設整備基礎調査委託料	5,150	処理方法の検討及び施設計画
	合計	5,150	

<その他財源の内訳>

(款) 4. 衛生費

(項) 2. 清掃費

(目) 3. し尿処理費

(単位：千円)

事業名	し尿処理事業費（し尿処理適正化事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,000	7,000	0	0	0	0	7,000

(事業内容の説明)

下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法の趣旨に基づき、し尿処理業の転・廃業を円滑に、かつ計画的に進め、その業者の持つ業務の安定化を図り、併せて、残汲み取りし尿の適正処理を確保することを目的として金銭補償を行っている。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
補償・補填及び賠償金	し尿収集運搬業者補償費	7,000	債務負担行為済み（H26年度～H30年度）
	合計	7,000	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：郷づくり支援課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 1. 一般管理費

(単位：千円)

事業名		防犯灯維持管理事業費（防犯灯新設事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,224	3,224				1,200	2,024
(事業内容の説明)						
自治会長からの防犯灯の修繕・新設要望等に基づき修繕・新設等を実施する事業。						
【修繕】修繕・移設・撤去等、100件程度						
【新設】電柱共架25基程度、小柱10基程度						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
需用費	機械器具修繕料	2,000	防犯灯修繕料（修繕取替えはLED灯）			
工事請負費	防犯灯設置工事費	1,224	防犯灯LED設置工事			
合計		3,224				
<その他財源の内訳>						
まちづくり基金		1,200 千円				

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 12. 地域づくり費

(単位：千円)

事業名		郷づくり推進事業費（郷づくり活動拠点整備事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,403	59,924				57,200	2,724
(事業内容の説明)						
各地域の郷づくり推進協議会の活動拠点となる施設を整備するための事業						
・H29年度は神興東の設計監理委託及び建築工事一式（約200㎡）を予定						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
旅費	普通旅費	10	職員旅費（県庁等）			
需用費	事務用品費	20	事務用品			
	管理用品費	62	管理用品			
役務費	水道開閉栓手数料	3	水道開栓手数料			
委託料	郷づくり拠点整備工事設計監理委託料	2,236	神興東拠点整備工事設計監理業務			
工事請負費	建築工事費	55,000	神興東拠点整備工事			
備品購入費	机購入費	687	長机			
	椅子購入費	604	イス			
	箱棚類購入費	146	シューズボックス			
	室内調度器具雑品購入費	553				
	電気通信機器購入費	300	ポータブルアンプ一式			
負担金・補助及び交付金	水道加入負担金	303	水道加入負担金			
合計		59,924				
<その他財源の内訳>						
まちづくり基金		57,200 千円				

平成29年度一般会計予算

課室名：郷づくり支援課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 12. 地域づくり費

(単位：千円)

事業名	宮司コミュニティセンター管理運営費 (宮司コミュニティセンター改修事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
0	287				287

(事業内容の説明)

建設後10年が経過し老朽化に伴う改修が必要な箇所が見られ、通常の維持管理のみでは利用者の安全・快適性の確保が難しくなっており、施設の高寿命化を図るべく計画的に改修工事を実施する。H29年度は施設調査を委託する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	公共施設調査委託料	287	館内修繕等調査業務
	合計	287	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 14. 地方創生費

(単位：千円)

事業名	地方創生事業費（ふくつ自然塾整備事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
6,129	7,158				7,158

(事業内容の説明)

多彩で豊かな自然環境を活かした体験・交流により、多くの人に関心を持ってもらう機会を提供することで、市の知名度・認知度の向上を図る事業。従来の日帰り型（着地型観光）に加え、法的問題を確認した上で、短・長期宿泊、商品開発・販売企画について進めていく。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	ふくつ自然塾推進員報酬	2,088	推進員報酬 174,000円×12月
報償費	助言者謝金	40	ふくつ自然塾助言者謝金 20,000円×2回
旅費	福津自然塾推進員費用弁償	9	推進員費用弁償 2,120円×4回×1人
	普通旅費	5	普通旅費 2,120円×2回×1人
補助金	福津暮らしの旅事業補助金	5,016	福津暮らしの旅事業補助金
合 計		7,158	

<その他財源の内訳>

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 14. 地方創生費

(単位：千円)

事業名	地方創生事業費（福津産品販路拡大事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
3,600	4,000				4,000

(事業内容の説明)

飲食サービスの提供や交流イベント開催等を行い、産品及び市のPRを行うものである。本委託事業を通して、福津市における産品及び市の知名度・認識度向上、さらには産品の販路拡大を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	福津産品販路拡大事業委託料	4,000	福津産品販路拡大事業委託
合 計		4,000	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務管理費

(目) 14. 地方創生費

(単位：千円)

事業名	地方創生事業費（福津空き店舗等活用事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
6,000	6,000				6,000

(事業内容の説明)

活力と魅力あるまちづくりを推進するため、空き家等を利用して営業を開始し、出店する者に対して、予算の範囲内で改装工事費の一部及び賃貸料の一部を補助するものである。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	空店舗等活用事業補助金	6,000	改装工事及び賃貸料の一部補助
	合計	6,000	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位：千円)

事業名	農林漁業体験実習館管理運営費 (農林漁業体験実習館管理運営事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
10,112	10,177				7,717 2,460

(事業内容の説明)

- ・農林漁業体験実習館 都市と農村との交流を通じ快適で生産性、文化性の高い農村社会を構築するための施設の管理運営に要する費用。
- ・産地形成促進施設 福津市の農水産物の販売及び展示、生産加工並びに販路拡大、消費者の志向の調査研究を推進するための施設 (あんずの里市) の維持管理に要する費用。
- ・あんずの里運動公園や産地形成促進施設の利用者の利便供与並びに地元農水産物の消費拡大を促進するため、地元野菜を使用した料理を提供する施設の維持管理に要する費用。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	管理用品費	90	管理用消耗品費 90,000円
	印刷製本費	17	申請書類印刷代
	電気使用料	4,718	電気使用料 364,000円×12月×1.08
	水道使用料	856	水道使用料 66,000円×12月×1.08
	ガス使用料	357	ガス使用料 27,500円×12月×1.08
	施設修繕料	200	施設等通常修繕 200,000円
	事務機器修繕料	76	パフォーマンスチャージ料 6,300円×12月
役務費	通信運搬費	108	電話代 9,000円×12月
	公有物件災害共済掛金	46	農林漁業体験実習館、あんずの里レストラン
委託料	施設警備委託料	573	施設警備 (農林漁業体験実習館、あんずの里レストラン)
	自動ドア保守点検委託料	158	自動ドア保守点検 (農林漁業体験実習館、あんずの里レストラン)
	夜間管理委託料	126	夜間管理 3,500円×3日×12月
	実習館事務委託料	1,997	事務委託 6,400円×312日
	農林漁業体験実習館消防設備点検委託料	174	消防設備点検 (農林漁業体験実習館、あんずの里レストラン)
	植栽等管理委託料	234	あんずレストラン下植栽剪定、芝草刈等
	室内清掃委託料	164	床清掃 (農林漁業体験実習館、あんずの里レストラン)
	貯水槽清掃委託料	47	貯水槽清掃 42,800円×1.08
	電気保安管理委託料	147	電気保安管理 11,300円×12月×1.08
使用料及び賃借料	ファックス・コピー機賃借料	89	リコーデジタル複合機 6,800円×12月×1.08
	合計	10,177	

<その他財源の内訳>

自動販売機設置料	420 千円
農林漁業体験実習館使用料	960 千円
産地形成促進施設使用料	5,540 千円
あんずの里食堂使用料	797 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位：千円)

事業名	農産物直販施設管理運営費 (農産物直販施設管理事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
856	1,080				961	119

(事業内容の説明)

福津市の農産物及び加工品等の展示紹介、生産並びに販路拡大、消費者の志向の調査研究を推進するための農産物直販施設 (福間ふれあい広場) の維持管理に要する費用。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	施設修繕料	369	ブラインド・車止め修繕等
役務費	公有物件災害共済掛金	24	ふれあい広場福間
委託料	農産物直販施設警備委託料	363	夜間警備 28,000円×12月×1.08
	農産物直販施設消防設備点検委託料	56	消防設備点検 51,000円×1.08
	室内清掃委託料	83	床清掃 76,000円×1.08
	電気保安全管理委託料	125	電気保安全管理 9,600円×12月×1.08
使用料及び賃借料	AED賃借料	60	AED賃借料 60,000円
合計		1,080	

<その他財源の内訳>

農産物直販施設使用料 961千円

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位：千円)

事業名	農林水産業経営強化事業費 (活力ある高収益型園芸産地育成事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
36,459	16,707		14,916			1,791

(事業内容の説明)

園芸農業の生産の増加と持続的な農業経営を行うため、ハウスや省力機械等の整備に要する経費について補助金を交付し、農業の発展を図るものである。

- ・鉄骨補強型パイプハウス及び附帯施設 (省力栽培温室)
- ・鉄骨補強型パイプハウス及び附帯施設 (育苗施設)

※県費1/3 市費1/6

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金	16,707	認定農業者 2人
合計		16,707	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位：千円)

事業名	農林水産業経営強化事業費（力強い水田農業確立事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,500	900	800	100			0

(事業内容の説明)

リタイアする農業者及び経営転換する農業者並びに農地の相続人が農地中間管理機構を通じて10年間農地を貸付けた場合に支払われる交付金及び協力金

- ・経営転換協力金（国庫分） 800,000円
- ・農地集積交付金（県単分） 100,000円

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	力強い水田農業確立事業補助金	900	経営転換協力金、農地集積交付金
	合計	900	

<その他財源の内訳>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農地費

(単位：千円)

事業名	農業多面的機能支払交付金事業費（農業多面的機能支払交付金事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,713	17,956		13,536			4,420

(事業内容の説明)

農業生産にとって最も基礎的な資源である農地や農業用灌漑施設、ため池、農道等の保全管理に関する地域ぐるみでの効果の高い取り組みを支援する。

また、農業が有する多面的機能の維持・向上を図るための地域の共同活動を支援するとともに、活動組織への指導、助言や研修会を行うことで、交付金の適性かつ円滑な活用を目的とするものである。

- ・多面的機能支払交付金 12組織

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
共済費	雇用保険料	4	事務員雇用保険料
賃金	臨時雇賃金	256	臨時雇賃金 6,400円×40日
旅費	普通旅費	25	職員旅費（土地改良連合会等）
需用費	事務用品費	50	事務用品費
負担金・補助及び交付金	農業多面的機能支払交付金	17,621	12組織
	合計	17,956	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 1. 水産業振興費

(単位：千円)

事業名	水産振興一般管理費(水産振興補助事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
4,715	5,672				5,672

(事業内容の説明)

水産業の振興及び漁獲高の安定を図るために、宗像漁協が行う漁場の保全、営漁改善事業等に補助金を交付するものである。

- ・漁礁用土管投入事業 800組(1,600本)
- ・クルマエビ(50,000尾)、アワビ(10,000個)放流事業
- ・牡蠣養殖機械購入事業(かき脱貝機セット及び漁船購入)
- ・津屋崎漁港貯水タンク改修事業

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	水産振興補助金	5,672	
	合計	5,672	

<その他財源の内訳>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 1. 水産業振興費

(単位：千円)

事業名	水産振興一般管理費(環境・生態系保全活動支援事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
400	400				400

(事業内容の説明)

宗像市と共同で協議会を立ち上げ、漁業者が藻場等の機能の維持・回復に資する保全活動に対して補助する事業である。宗像漁協津屋崎支所の漁業者が渡半島の1ヘクタールの事業箇所、藻場荒廃の要因であるガンガゼを駆除し、海草を植え付け藻場を再生するものである。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	環境・生態系保全活動支援補助金	400	環境・生態系保全活動支援補助金
	合計	400	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 1. 水産業振興費

(単位：千円)

事業名	魚センター管理運営費 (魚センター管理運営費)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
3,005	1,381				1,381

(事業内容の説明)

水産物直販施設として、福津市の水産物及び加工品等の展示紹介、生産並びに販路拡大、消費者志向等の調査研究及び情報交換等を推進する施設の維持管理に要する費用。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	施設修繕料	169	魚センター調理器等修繕
役務費	公有物件災害共済掛金	40	魚センター公有物件災害共済掛金
委託料	施設警備委託料	260	夜間警備 20,000円×12月×1.08
	施設維持管理委託料	698	エレベーター保守点検、自動ドア保守点検、消防用設備等点検
	室内清掃委託料	48	床清掃 21,800円×2回×1.08
	電気保安管理委託料	166	電気保安管理 12,800円×12月×1.08
合計		1,381	

<その他財源の内訳>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 1. 水産業振興費

(単位：千円)

事業名	魚センター管理運営費 (魚センター改修事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
2,376	912				912

(事業内容の説明)

①魚センター

・トイレウォシュレット修繕、天井照明修繕、エアポンプ修繕、空と海板間床パネル修繕

②朝市アーケード

・アーケード電灯修繕

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	施設修繕料	912	魚センター修繕、朝市アーケード修繕
合計		912	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位：千円)

事業名	商工振興一般管理費(商工会補助事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
15,944	16,427				16,427

(事業内容の説明)

福津市における商工・観光事業の持続的な発展と育成を図ることを目的として、関係経費の補助について定める「福津市商工・観光業補助金交付要綱」に基づき、福津市商工会へ補助を行う。

また、今年度も引き続き、地域振興券発行事業経費の一部を加算して、地域経済の活性化、消費喚起を支援する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	商工振興補助金	16,427	商工振興対策事業
			地域振興券発行事業
			地域振興券発行事業(特別枠分)
	合計	16,427	

<その他財源の内訳>

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位：千円)

事業名	商工振興一般管理費(福津市PR事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
1,500	1,500				1,500

(事業内容の説明)

福津ブランドの醸成を図るため、福津の魅力をもPRするイベントを行うもの。イベント参加者の福津に対する認知度、興味関心度を向上させ、本事業を入口としたさらなる市内への交流人口増を目的とする。

学校形式での事業展開を継続し、来場者が市内回遊しやすい機会づくりの視点を持ったイベントをイオンモール福津で開催する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	地域ブランドPRイベント委託料	1,500	地域ブランドPRイベント委託料
	合計	1,500	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位：千円)

事業名		中小企業支援事業費（中小企業融資制度事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
35,000	35,000				35,000	0

(事業内容の説明)

1 事業者500万円を限度として、事業資金を融資する市独自の制度で、福岡県の同様の制度に比べ、利率を0.1%低く設定している。市内4金融機関に預託し、その資金運用益を活用して中小企業向けの低金利融資を行う。預託機関は福岡銀行、西日本シティ銀行、福岡県中央信用組合、遠賀信用金庫へ各8,750,000円ずつ預託している。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
貸付金	中小企業資金貸付金	35,000	中小企業資金貸付金
	合計	35,000	

<その他財源の内訳>

中小企業事業貸付金元金 35,000 千円

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位：千円)

事業名		福津ブランド推進事業費（福津の極み推進事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,285	1,281					1,281

(事業内容の説明)

福津の極み販路拡大・情報発信等の支援として、物販を伴うPRイベント「福津ぷらり市」を中心に事業展開する。

トヨタスプリングフェスタ、JR博多駅小規模イベントスペース、RKBラジオまつり、イオンモール福津等を予定している。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	協力者謝金	30	福津の極みキャラクター出演謝金
	記念品代	10	イベント開催時等における記念品代
旅費	普通旅費	44	イベント時等旅費 1,000円×11回×4人
需用費	消耗品費	30	イベントディスプレイ用消耗品
	物品修繕料	54	キャラクター着ぐるみ修繕料
委託料	福津の極み情報発信業務委託料	1,100	福津の極み情報発信業務委託料
使用料及び賃借料	有料道路使用料	13	有料道路使用料 620円×2×5日×2台
	合計	1,281	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位：千円)

事業名	福津ブランド推進事業費（福津ブランド広報事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
4,100	4,100				4,100

(事業内容の説明)

福津ブランドの戦略的推進を行うための情報発信、福津市の優位性のある福津ブランドのひとつひとつの品質を高め、市の良さをPRし、自治体間競争に負けないブランドを確立するために実施する。

本事業ではメディアの買取（RKBラジオ）、観光情報等に特化した市地域振興課ホームページ「ふくつのじかん」の管理運営、他課（うみがめ課、郷育推進課）との連携事業を実施する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
賃金	臨時雇賃金	308	HP更新作業 6,400円×48日
報償費	講師謝金	32	福津の夏学校講師謝金 8,000円×4人 福津の夏学校講師
旅費	普通旅費	24	出演者引率旅費 1,000円×24回
需用費	賄材料費	12	HP掲載レシピ材料費 1,000円×12回
役務費	広告料	3,694	メディア番組買取（RKBラジオ）
使用料及び賃借料	有料道路使用料	30	有料道路使用料 620円×2×24回
合計		4,100	

<その他財源の内訳>

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 2. 商工振興費

(単位：千円)

事業名	買物支援事業費（買物支援モデル事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
3,100	3,000				3,000

(事業内容の説明)

商工振興及び高齢者雇用、買物弱者に対する支援策の一つとして実施する宅配サービス。平成29年度までのモデル事業で、商工会に補助金を交付し、福間駅前商店会が実施する。このモデル事業期間内に、利用者の増加を図るとともに利用者の意見等を集約して課題整理・事業内容の改善を図る。今年度でモデル事業が終了するため、来年度以降の対策・方針を決定していく。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	事務補助金	3,000	買物支援宅配サービスモデル事業補助金
合計		3,000	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 観光費

(単位：千円)

事業名		観光事業費 (ビーチサッカーフェスティバル支援事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,200	1,200					1,200

(事業内容の説明)

福津市の風光明媚な海岸により多くの人々が訪れ、海岸線のにぎわいを生み出すため、ビーチサッカー大会を開催する。

当事業の企画・運営はふくつビーチサッカーフェスティバル実行委員会が担い、市は開催に際して事業費の一部を補助している。

実行委員会は、市民及び津屋崎海水浴場組合等を中心に組織し、地域のアイデアを取り入れた魅力的な大会の開催を図っている。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	ビーチサッカー大会実行委員会補助金	1,200	運営費、スポーツ保険加入費、電気工事費等
	合計	1,200	

<その他財源の内訳>

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 観光費

(単位：千円)

事業名		観光事業費 (観光PR事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
687	3,385					3,385

(事業内容の説明)

宗像市などと県外のコンベンションとの交流イベントを実施するとともに、JR博多シティの中核テナント「博多阪急」や、つやざき観光馬車付設の広告掲示板において、福津市の魅力、観光情報を発信する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	72	広域連携PR
需用費	消耗品費	147	広域連携PR土産代
役務費	通信運搬費	10	送料
	広告料	400	観光馬車広告掲示
委託料	観光事業イベント委託料	100	博多阪急PR事業
	新原・奴山古墳群観光事業委託料	2,656	古墳群バスツアー
	合計	3,385	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費

(単位：千円)

事業名	観光施設管理運営事業費（まちおこしセンター管理運営事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,774	12,171				45	12,126

(事業内容の説明)

津屋崎千軒の観光拠点と地域活性化の場としての「まちおこしセンター津屋崎千軒なごみ」を指定管理者制度により運営主体とし、本市の交流の場、情報の発信・地域観光振興を行うものである。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
役務費	公有物件災害共済掛金	55	まちおこしセンター公有物件災害共済掛金
委託料	まちおこしセンター指定管理料	11,697	まちおこしセンター指定管理料
使用料及び賃借料	ファックス・コピー機賃借料	143	11,000円×12月×1.08
使用料及び賃借料	AED賃借料	60	4,600円×12月×1個×1.08
備品購入費	厨房具購入費	216	冷蔵庫1台
	合計	12,171	

<その他財源の内訳>

自動販売機等設置料

45千円

(款) 7. 商工費

(項) 1. 商工費

(目) 3. 観光費

(単位：千円)

事業名	観光協会補助事業費（観光協会補助事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,142	11,250					11,250

(事業内容の説明)

福津市全体の観光振興のため、観光PRやイベント開催等の事業を展開している（一社）ふくつ観光協会に対する補助事業。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	観光協会補助金	11,250	花火大会、夏季イベント、ガイド育成費、等
	合計	11,250	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：地域振興課

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 観光費

(単位：千円)

事業名	観光産業活性化推進事業費 (観光産業活性化推進事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
7,000	16,251		1,000		15,251

(事業内容の説明)

観光基本計画に則り、観光産業の活性化を進めるため、市内団体や有識者で組織される福津市観光産業活性化協議会が行う観光産業活性化推進事業を助成する。

鯛茶づけフェアと食の街道、食の収穫祭のイベントの実施に加え、平成29年度は「全国門前町サミットin福津」及び宮地嶽神社の「光の道」を活用した土産品開発等を実施する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	事務用品費	51	ロール紙、インク等
負担金・補助及び交付金	観光産業活性化推進協議会補助金	16,200	鯛茶づけフェア、収穫祭、食の街道、光の道、門前町サミット
	合計	16,251	

<その他財源の内訳>

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 観光費

(単位：千円)

事業名	行政・観光情報ステーション管理運営費 (行政・観光情報ステーション施設総務費)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
9,647	4,932				4,932

(事業内容の説明)

行政・観光情報ステーションは、JR福間駅において、通勤・通学者に対する行政サービス(行政サービス問い合わせ取次ぎ、図書返却)、観光客に対する観光イベント情報やブランド情報の提供サービス、ギャラリーの運営(自主企画による展示等及び市民による展示等申請の受付等)を広く行っている。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	行政・観光情報ステーション窓口業務委託料	4,932	観光窓口案内、ギャラリー運営委託
	合計	4,932	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：都市管理課

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 企画費

(単位：千円)

事業名	地域交通体系整備事業費（コミュニティバス運行委託事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
42,478	39,530		2,207		37,323

(事業内容の説明)

市における交通現状と課題・社会環境の変化への対応を図るため地域交通体系運行計画を策定し、この計画に基づき、市内のタクシー事業者2者に委託し、5路線の「ふくつミニバス」を運行しています。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	バス運行委託料	39,530	
	合計	39,530	

<その他財源の内訳>

(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位：千円)

事業名	道路ストック事業費（道路ストック修繕更新事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
15,000	20,272	11,149		8,200	900 23

(事業内容の説明)

国土交通省道路局による「総合点検実施要領（案）」に基づき点検を実施した道路施設について、修繕・更新を行うもの。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	道路修繕工事費	20,272	須多田44号線道路舗装工事
	合計	20,272	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：都市管理課

(款) 8. 土木費

(項) 3. 河川費

(目) 1. 河川総務費

(単位：千円)

事業名	河川維持管理事業費(大内川浚渫事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	3,545				3,500	45

(事業内容の説明)

舍利蔵地区市営河川内殿川において、過年度より隣地の土砂埋立てにより、河川に土砂が流入している。内殿川の本流である、県営河川大内川沈砂池の浚渫を県と隔年で実施するもの。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	大内川浚渫工事費	3,545	大内川沈砂池浚渫工事
	合計	3,545	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

3,500 千円

(款) 8. 土木費

(項) 3. 河川費

(目) 2. 河川改良費

(単位：千円)

事業名	河川改良事業費(西堅川改良事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	19,762				19,700	62

(事業内容の説明)

普通河川西堅川に隣接する新成区、末広区は低地に位置するため、満潮時の豪雨の際には宅地の雨水が正常に排水されず、冠水被害が発生している。また、護岸についても未整備の土羽護岸であるため、侵食が著しく、近年崩壊が頻発している状況にある。平成28年度に現在の西堅川の排水能力を見定め、理想の河川断面の基本設計を行うとともに、護岸の改修を行うまでの保護対策方法を検討することを目的とする基本調査業務を実施した。その結果、断面が不足し、流下能力に問題がある箇所があることが判明した。河川を健全な状態に改修するために、測量設計業務を実施するもの。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	河川改修工事設計委託料	19,762	西堅川改良工事測量設計業務
	合計	19,762	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

19,700 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：都市管理課

(款) 8. 土木費

(項) 4. 都市計画費

(目) 1. 都市計画総務費

(単位：千円)

事業名	耐震改修促進事業費（住宅耐震改修工事補助事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
1,200	1,200	600			600

(事業内容の説明)

平成22年度に策定した「福津市耐震改修促進計画」に基づき、市民に最も関係が深い戸建て木造住宅の耐震化を進めるために、市民の耐震工事費を補助支援する。平成29年度は1件当たり上限60万円×2件分＝120万円を計上。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	住宅耐震改修工事費補助金	1,200	住宅耐震改修工事費補助金
	合 計	1,200	

<その他財源の内訳>

(款) 8. 土木費

(項) 4. 都市計画費

(目) 1. 都市計画総務費

(単位：千円)

事業名	都市計画策定事業費（都市計画マスタープラン等策定事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
7,365	8,989		1,250		7,739

(事業内容の説明)

都市計画基礎調査は都市計画法第6条に規定する都市計画に関する基礎調査として概ね5年ごとに実施しています。

都市計画マスタープラン等に掲げる市の将来都市像を実現するため、この基礎調査の結果や社会経済状況の変化を踏まえ、県又は市が都市計画を決定、変更、廃止等を行うこととなります。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	都市計画マスタープラン等策定業務委託料	3,489	
	都市計画基礎調査業務委託料	5,500	
	合 計	8,989	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：都市管理課

(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 1. 都市計画総務費 (単位：千円)

事業名	定住化促進事業費（定住化促進事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
183	208				208

(事業内容の説明)

市の公式ホームページ内の定住化ページの更新等により、情報提供を行う。また、空き家利活用を希望している所有者へ空き家バンクを含めた不動産活用を促し、移住・定住人口増を図る。平成29年度は、積極的に空き家予防セミナーなどを実施し、放置空き家の抑制に努める。

【予算の状況】 (単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	空き家等対策協議会委員報酬	98	委員長(5,400円×1人×2日) 委員(4,800円×9人×2日)
旅費	空き家等対策協議会委員費用弁償	40	(2,000円×10人×2日)
	普通旅費	30	普通旅費
役務費	通信運搬費	10	通信運搬費
負担金・補助及び交付金	空き家相談支援事業負担金	30	空き家相談支援事業負担金
	合計	208	

<その他財源の内訳>

(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 1. 都市計画総務費 (単位：千円)

事業名	景観まちづくり推進事業費（景観審議会運営事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
267	178				178

(事業内容の説明)

良好な景観の形成に関する事項について審議を行うため、必要に応じて景観審議会を開催し、良好な景観形成を総合的かつ計画的に推進し、その実現を図る。

【予算の状況】 (単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	景観審議会委員報酬	126	(会長5,400円×1人×2日) (委員4,800円×12人×2日)
旅費	景観審議会委員費用弁償	52	(2,000円×13人×2日)
	合計	178	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：都市管理課

(款) 8. 土木費

(項) 4. 都市計画費

(目) 1. 都市計画総務費

(単位：千円)

事業名	景観まちづくり推進事業費（景観アドバイザー運営事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
400	120				120

(事業内容の説明)

景観の形成に関する専門的知識または経験を有する景観アドバイザーを置き、必要に応じて、技術的指導、助言等を求め、届出の対象となる行為や公共施設の整備についての景観計画への適合その他本市の良好な景観の形成を推進する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	謝金	120	助言者謝金
	合計	120	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：建設課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農地費

(単位：千円)

事業名	農業用施設整備事業費（農村環境整備事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
5,236	4,302		1,701		2,500 101

(事業内容の説明)

改修要望が出されているため池・水路について県単独補助事業により整備を行う。
本年度は渡地区転倒ゲート設置工事を計画。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	9	職員旅費（農林事務所等）
需用費	消耗品費	29	書籍購入費
工事請負費	農業用設備改修工事費	4,255	渡地区転倒ゲート設置工事
負担金・補助及び交付金	土地改良連合会一般賦課金負担金	9	土地改良連合会負担金
	合計	4,302	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 2,500 千円

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農地費

(単位：千円)

事業名	農林水産業用施設維持管理事業費（県営水利施設整備負担事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
9,306	15,838			5,600	10,100 138

(事業内容の説明)

湛水地域の解消を図るための排水機場（3ヶ所）について、施設の老朽化による経年劣化を県営事業により改修し、事業費の25%を県に支払うもの。
本年度は第1～3排水機場の除塵機、燃料配管、建屋、構内舗装等の改修を予定。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	土地改良連合会一般賦課金負担金	88	土地改良連合会負担金
負担金・補助及び交付金	県営水利施設整備事業負担金	15,750	県営事業負担金 63,000千円×25%
	合計	15,838	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 10,100 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：建設課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農地費

(単位：千円)

事業名		県営ため池整備事業費(県営ため池整備負担事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
38,772	25,940			25,800		140

(事業内容の説明)

御供田ため池、寺前ため池、野間ため池、ヤナイ下ため池、吉原ため池を県営事業により整備するため、地元負担金として事業費の20%を支払うもの。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	土地改良連合会一般賦課金負担金	140	土地改良連合会負担金
負担金・補助及び交付金	ため池整備県営事業負担金	25,800	県営事業負担金 129,000千円×20%
	合計	25,940	

<その他財源の内訳>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位：千円)

事業名		松くい虫防除事業費(松くい虫防除事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,275	15,578		1,564		1,500	12,514

(事業内容の説明)

農作物被害防止のための松くい虫防除事業。
防風保安林内の薬剤散布(航空防除3ha、地上散布13ha)、伐倒駆除、樹幹注入、松苗購入を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	協力者謝金	39	松くい虫散布時協力者謝金 3千円×13人
旅費	普通旅費	29	職員旅費(農林事務所等)
需用費	消耗品費	666	松苗木等
委託料	松くい虫防除事業委託料	13,293	薬剤散布・伐倒駆除・樹幹注入
工事請負費	防風竹柵工事費	1,500	防風竹柵工事費
負担金・補助及び交付金	福岡県北筑前海岸市町村海岸松林保全対策協議会負担金	51	協議会負担金
	合計	15,578	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 1,500千円

平成29年度一般会計予算

課室名：建設課

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 漁港管理費

(単位：千円)

事業名	漁港一般管理費 (県営津屋崎漁港整備負担事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
3,140	5,080				5,000
					一般財源
					80

(事業内容の説明)

津屋崎漁港を改修する県単独事業費の20%負担金。
本年度は長寿化計画策定、船揚場・物揚場補修(船体固定装置2基)、突堤工事16mを予定。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	津屋崎漁港施設改修県営事業負担金	5,080	県営事業負担金
			(工事費：25,000千円×20%+業務委託費1,000千円×8%)
	合計	5,080	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 5,000 千円

(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 道路新設改良費

(単位：千円)

事業名	道路新設改良事業費 (宮司28号線道路改良事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
38,500	42,400	14,076		25,400	2,900
					一般財源
					24

(事業内容の説明)

宮司地区の生活道路である本路線(現況幅員2.4~3.7m)を緊急車両等の円滑な交通確保のため、有効幅員5.0mへ拡幅し、生活環境改善を図る事業である。

全体計画延長L=230m、計画幅員W=5.0m

平成29年度事業予定：道路改良工事L=230m

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	道路改良工事費	42,400	
	合計	42,400	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 2,900 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：建設課

(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 道路新設改良費

(単位：千円)

事業名		道路新設改良事業費 (山手線道路改良事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	1,302					1,302

(事業内容の説明)

本事業箇所は、須多田地区の生活道路及び地域間を結ぶ幹線的役割のある本路線の一部であり、交通量も多く見通しが悪いため危険性の高い箇所となっております。拡幅をすることで安全且つ快適な通行空間の確保と地域の安全性向上を図る事業である。

全体計画延長 L = 40m

平成29年度事業予定：道路測量設計業務 L = 40m、用地買収

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	2	印紙代
委託料	道路測量調査設計委託料	700	測量、詳細設計業務
公有財産購入費	道路改良工事用地購入費	600	A=約60m ²
	合計	1,302	

<その他財源の内訳>

(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 橋梁維持費

(単位：千円)

事業名		橋梁長寿命化修繕事業費 (橋梁長寿命化修繕事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
105,207	162,000	89,100		41,300	31,600	0

(事業内容の説明)

道路法施行規則並びに公共施設管理計画に係る個別計画 (橋梁長寿命化修繕計画) に基づき、計画的に修繕補修等に努めることにより、長期での維持管理等の経費支出を抑制するため、橋梁の定期点検、点検結果に基づく修繕計画・詳細設計、長寿命化工事を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託料	60,000	N = 145橋
	橋梁修繕工事設計監理委託料	34,000	N = 5橋
工事請負費	橋梁修繕工事費	68,000	N = 4橋
	合計	162,000	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

31,600 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：建設課

(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 2. 街路事業費

(単位：千円)

事業名	福岡駅前線街路事業費(福岡駅前線整備事業(市営事業))					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,170	69,241	30,360		34,700	3,900	281

(事業内容の説明)

都市計画道路福岡駅前線において県事業と連携した拡幅事業を行うことにより、JR福岡駅周辺地区の安全で円滑な交通体系を整える。

事業認可：平成16年度～平成29年度

事業延長：L=502m、計画幅員W=16m

概算事業費：1,410百万円(電線共同溝整備含む)

平成29年度事業予定：歩・車道舗装工事L=502mほか

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	47	
需用費	事務用品費	194	設計積算図書等、関連事務用品
工事請負費	道路改良工事	69,000	舗装工事等
	合計	69,241	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

3,900 千円

(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 2. 街路事業費

(単位：千円)

事業名	福岡駅前線街路事業費(福岡駅前線整備事業(県営事業))					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
50,138	50,138			47,600	2,500	38

(事業内容の説明)

都市計画道路福岡駅前線において市営事業と連携した拡幅事業を行うことにより、JR福岡駅周辺地区の安全で円滑な交通体系を整える。

事業認可：平成16年度～平成29年度

事業延長：L=700m、計画幅員W=16m

概算事業費：2,570百万円(電線共同溝整備含む)

平成29年度事業予定：道路改良・電線共同溝設置工事L=500m

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	福岡駅前線県営事業負担金	50,138	補助対象額×1/6、県単独費対象額×1/4
	合計	50,138	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

2,500 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：建設課

(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 2. 街路事業費

(単位：千円)

事業名		福間駅前線電線共同溝事業費 (福間駅前線電線共同溝事業 (補助事業))				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
260,009	27,007	11,000		15,200	800	7
(事業内容の説明)						
<p>都市計画道路福間駅前線において県事業と連携した拡幅事業に併せ、ユニバーサルデザイン計画の重点整備地区であるJR福間駅周辺地区の無電柱化を図ることで、安全で景観に配慮した歩道の構築を行う。</p> <p>事業認可：平成16年度～平成29年度 事業延長：L=502m、計画幅員W=16m 概算事業費：1,410百万円 (道路改良含む) 平成29年度事業予定：電力系共同溝工事委託L=30m、電力・通信系ケーブル入線補償L=502m</p>						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
旅費	普通旅費	7				
委託料	福間駅前線電線共同溝工事委託料	2,000	需要家への供給体系追加及び変更対応 (道路部分)			
補償・補填及び賠償金	電線共同溝工事に伴う補償費	25,000	電力・通信系ケーブル入線補償			
			九州電力、西日本電信電話等			
合計		27,007				
<その他財源の内訳>						
まちづくり基金繰入金		800千円				

(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 2. 街路事業費

(単位：千円)

事業名		福間駅松原線道路整備事業費 (福間駅松原線整備事業 (県営事業))				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
99,238	99,238			31,500	67,700	38
(事業内容の説明)						
<p>都市計画道路福間駅松原線において道路新設を行うことにより、国道495号から福間駅東側 (日蔭野地区) を通り、国道3号までのアクセスをスムーズにし、福間駅周辺西側地区の新たな交通体系を構築する。</p> <p>事業認可：平成24年度～平成30年度 事業延長：L=560m、計画幅員W=17m 概算事業費：2,700百万円 平成29年度事業予定：道路改良工事L=190m、用地買収・補償</p>						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
負担金・補助及び交付金	福間駅松原線県営事業負担金	99,238	補助対象額×1/6、県単独費対象額×1/4			
合計		99,238				
<その他財源の内訳>						
まちづくり基金		67,700千円				

平成29年度一般会計予算

課室名：建設課

(款) 8. 土木費

(項) 4. 都市計画費

(目) 2. 街路事業費

(単位：千円)

事業名	東福間駅周辺施設維持管理事業費（JR東福間駅自由通路改修事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
80,000	65,000	35,750			29,200	50

(事業内容の説明)

J R 東福間駅周辺の道路橋施設の補修（長寿命化）及び施設機能集約に係る事業である。
平成28年度は、構内橋（自由通路）の耐震補強及び長寿命化工事を実施し、平成29年度は、老朽化した側道橋の撤去工事を行い、施設機能集約を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	橋梁撤去工事委託料	65,000	J R 東福間駅側道橋撤去工事委託
	合計	65,000	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

29,200 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：下水道課

(款) 4. 衛生費

(項) 1. 保健衛生費

(目) 6. 環境保全対策費

(単位：千円)

事業名	環境保全事業費（合併処理浄化槽設置整備補助事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
841	835	276	276			283

(事業内容の説明)

公共用水域の水質保全及び生活環境の向上のため、公共下水道の計画区域外の区域で合併浄化槽を設置しようとするものに対して補助金を交付する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
旅費	普通旅費	7	職員旅費（県庁等）
負担金・補助及び交付金	合併浄化槽設置補助金	828	7人槽414,000円×2基
	合計	835	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：学校教育課

(款) 10. 教育費

(項) 1. 教育総務費

(目) 2. 事務局費

(単位：千円)

事業名	コミュニティ・スクール推進事業費（学校運営協議会事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
3,163	3,548				3,548

(事業内容の説明)

コミュニティ・スクールを推進するために、保護者、地域の方々、有識者や教職員などのメンバーで「学校運営協議会」を組織し、学校運営に参画し、創意工夫しながら、特色ある学校づくりを推進する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	学校運営協議会委員報酬	1,200	学校運営協議会委員報酬
報償費	講師謝金	40	CSフォーラム、CS報告会
	協力者謝金	200	CSフォーラム、ふるさと学習推進協力者
旅費	学校運営協議会委員費用弁償	1,200	学校運営協議会委員費用弁償
	研修旅費	201	研修旅費
需用費	事務用品費	171	事務用品費
	印刷製本費	534	ふるさと学習冊子印刷
負担金補助及び交付金	全国コミュニティスクール連絡協議会負担金	2	負担金
合計		3,548	

<その他財源の内訳>

(款) 10. 教育費

(項) 1. 教育総務費

(目) 2. 事務局費

(単位：千円)

事業名	少人数学級設置事業費（少人数学級設置事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
12,566	12,566				12,566

(事業内容の説明)

小学校2年生、中学1年生の学級に対して、非常勤講師を配置し、35人以下の学級を実現させる。児童・生徒にきめ細やかな指導を行い、学校生活の安定や、学力向上につなげる。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	少人数学級指導員報酬	12,528	少人数学級指導員報酬
共済費	労災保険料	38	労災保険料
合計		12,566	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：学校教育課

(款) 10. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位：千円)

事業名	教育相談事業費（教育相談事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
9,502	12,391				12,391

(事業内容の説明)

小学校、中学校において教育相談体制の充実及び強化を図るために、教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門スタッフを配置し、児童、生徒、教職員、保護者に対して、助言、指導を行い、学校教育活動を支援する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報酬	教育指導員報酬	6,264	教育指導員報酬
	スクールカウンセラー報酬	1,900	スクールカウンセラー報酬
	スクールソーシャルワーカー報酬	4,160	スクールソーシャルワーカー報酬
共済費	労災保険料	19	労災保険料
旅費	教育指導員費用弁償	18	教育指導員費用弁償
需用費	事務用品費	30	事務用品費
合計		12,391	

<その他財源の内訳>

(款) 10. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 教育振興費

(単位：千円)

事業名	小学校教育振興費（小学校要保護及び準要保護就学援助支援事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
30,896	31,753	64			31,689

(事業内容の説明)

経済的理由によって、就学困難な児童に対し、就学に必要な経費の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
扶助費	準要保護児童援助費	31,624	学用品費、新入学通学用品費他
	要保護児童援助費	129	修学旅行費
合計		31,753	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：学校教育課

(款) 10. 教育費

(項) 2. 小学校費

(目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名	小学校給食施設整備事業費 (小学校給食施設整備事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,765	5,173				3,400	1,773

(事業内容の説明)

福間南小、福間小の学級数増加に伴う、小学校給食用消耗品(トレイ、箸、スプーン等)、備品(食器消毒保管機、学級運搬車等)の給食環境整備。福間小児童数の増加に伴う給食室の配置見直し設計委託。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	1,211	学級数増加分(トレイ、スプーン等)
役務費	設備移設手数料	471	神興小から福間小へ回転釜移設
委託料	給食室工事設計委託料	569	福間小給食室配置工事設計費
備品購入費	厨房具購入費	2,922	食器消毒保管機他
合計		5,173	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

3,400 千円

(款) 10. 教育費

(項) 2. 小学校費

(目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名	小学校学習環境整備事業費 (小学校学習環境整備事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,111	8,538				8,500	38

(事業内容の説明)

教育環境を整備、充実させる。福間南小、津屋崎小、福間小の児童数及び学級数増加に伴う、小学校備品の整備。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
備品購入費	机購入費	1,734	児童机、教師用机、職員室用机等
	椅子購入費	2,032	児童椅子、教師用椅子、職員室用椅子等
	箱棚類購入費	1,386	靴箱、傘たて
	印刷複写機購入費	87	福間小職員室プリンター
	電子計算機購入費	567	校務用ノートパソコン
	視聴覚器具購入費	1,156	教室用テレビ
	教材備品購入費	1,154	教室用オルガン
	雑品購入費	422	テント
合計		8,538	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

8,500 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：学校教育課

(款) 10. 教育費

(項) 3. 中学校費

(目) 2. 教育振興費

(単位：千円)

事業名	中学校教育振興費（中学校要保護及び準要保護就学援助支援事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,182	29,601	201				29,400

(事業内容の説明)

経済的理由によって、就学困難な生徒に対し、就学に必要な経費の一部を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
扶助費	準要保護生徒援助費	29,197	学用品費、新入学通学用品費他
	要保護生徒援助費	404	修学旅行費
	合計	29,601	

<その他財源の内訳>

(款) 10. 教育費

(項) 3. 中学校費

(目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名	中学校学習環境整備事業費（中学校学習環境整備事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
994	3,217				3,100	117

(事業内容の説明)

教育環境を整備、充実させる。福間中の生徒数及び学級数増加に伴う、中学校備品の整備、福間東中職員室エアコン更新。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	電話設備工事費	833	職員室電話増設工事
備品購入費	机購入費	417	生徒机
	椅子購入費	348	生徒椅子等
	箱棚類購入費	187	靴箱、傘たて
	暖冷房器具購入費	1,291	職員室エアコン
	雑品購入費	141	テント
	合計	3,217	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

3,100 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：学校教育課

(款) 10. 教育費

(項) 3. 中学校費

(目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名	中学校給食施設整備事業費 (中学校給食施設整備事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	3,777				3,300	477

(事業内容の説明)

福間中の学級数増加に伴う、中学校給食用消耗品(トレイ、箸、スプーン等)、備品(ガス調整機、学級運搬車、ガス式立体炊飯器等)の給食環境整備。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	425	学級数増加分(トレイ、スプーン等)
備品購入費	厨房具購入費	3,352	ガス調整機他
	合計	3,777	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金

3,300 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：教育総務課

(款) 10. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位：千円)

事業名	教育方針策定事業（教育総合計画策定事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
0	585				585

(事業内容の説明)

平成30年度策定予定の第2次福津市総合計画に合わせて、分野別計画の一つとして「新・福津市教育総合計画」を策定する。

本年度中に、審議会（教育懇話会）の答申を受け策定する。

市民対象および児童・生徒対象の意識調査（アンケート）をもとに、有識者の意見も踏まえながら分析・検討していく。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	講師謝金	320	アンケート結果等の分析・評価・指導助言等
需用費	印刷製本費	265	教育総合計画冊子作成
	合計	585	

<その他財源の内訳>

(款) 10. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位：千円)

事業名	学校情報化事業費（学校情報配信システム更新事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
0	4,299				4,299

(事業内容の説明)

緊急雇用創出事業人事特例基金事業交付金を活用し構築した「学校情報配信システム」は、平成23年8月にサーバーを購入し（5年保証）、小・中学校および教育委員会ホームページと保護者対象の安心メールの運用を行ってきた。

しかしながら、5年間のメーカー保証期間が終了し、今後の障害発生等の対応に支障をきたすことにより、緊急・安心連絡メールの意味合いからも、新規にシステム（クラウド仕様）を構築し、ホームページおよび安心メールの刷新を行う。

本年度中は、現システムを運用しながら新システムを仮運用し、平成30年4月から新システムに完全移行させる。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	学校情報配信システム構築事業委託料	4,299	学校ホームページおよび情報配信メールシステム初期構築、データ移行、現地調整費
	合計	4,299	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：教育総務課

(款) 10. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名		小学校校舎施設整備事業費 (小学校施設大規模改造事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
72,776	517,276	34,818		32,800	445,300	4,358

(事業内容の説明)

- 上西郷小学校 上水道接続工事・設計他
- 福間小学校 改築工事・監理・物流
- 津屋崎小学校 プール濾過機更新、登棒更新
- 体育館天井等点検 (神興、福間南、勝浦)

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
役務費	水道開閉栓手数料	3	開栓手数料 (改造)
委託料	小学校工事設計委託料	486	上小上水道接続工事設計
	小学校工事監理委託料	14,115	福小改築工事等監理
	体育館天井等点検調査委託料	3,564	体育館天井等点検調査 (神小、南小、勝小)
	学校移転物流業務委託料	1,300	福小教室物流
使用料及び賃借料	学校仮設校舎賃借料	99,450	福小仮設校舎リース
工事請負費	小学校大規模改造工事費	390,581	福小改築、津小プール濾過機更新、津小登棒更新
	給排水設備工事費	6,977	上小上水道接続
負担金・補助及び交付金	水道引込工事負担金	800	上小上水道管新設工事負担金
合計		517,276	

<その他財源の内訳>

教育施設建設準備基金繰入金 436,900 千円
まちづくり基金繰入金 8,400 千円

(款) 10. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名		小学校学習環境整備事業費 (小学校学習環境整備事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37,255	59,485				58,500	985

(事業内容の説明)

- 福間南小学校 リース校舎及び職員室設置・設計監理、運動場拡張
- 福間小学校 管理棟改修工事、サイクル扇設置

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	小学校工事設計委託料	16,000	南小増築工事設計監理
工事請負費	小学校大規模改造工事費	43,485	福小サイクル扇設置、福小管理棟改修、南小運動場拡張
合計		59,485	

<その他財源の内訳>

教育施設建設準備基金繰入金 58,500 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：教育総務課

(款) 10. 教育費

(項) 3. 中学校費

(目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名	中学校校舎施設整備事業費 (中学校施設大規模改造事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,624	34,646				32,200	2,446

(事業内容の説明)

- 福間東中学校 排水設備工事・設計
- 福間中学校 整備基本設計
- 体育館天井等点検 (福間、福間東)

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
委託料	中学校工事設計委託料	994	東中排水設備工事設計
	学校整備基本設計委託料	20,000	福中整備基本設計
	体育館天井等点検調査委託料	2,376	体育館天井等点検調査 (福中、東中)
工事請負費	中学校大規模改造工事費	11,276	東中排水設備工事
	合計	34,646	

<その他財源の内訳>

教育施設建設準備基金繰入金 20,000 千円
まちづくり基金繰入金 12,200 千円

(款) 10. 教育費

(項) 3. 中学校費

(目) 3. 学校建設費

(単位：千円)

事業名	中学校学習環境整備事業費 (中学校学習環境整備事業)					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
493	493					493

(事業内容の説明)

- 福間中学校 サイクル扇設置

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
工事請負費	中学校大規模改造工事費	493	福中サイクル扇設置
	合計	493	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：教育総務課

(款) 10. 教育費

(項) 6. 社会教育費

(目) 5. 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	古墳公園建設事業費（古墳公園史跡等購入事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,365	329,607	245,008	24,500			60,099
(事業内容の説明)						
国指定史跡「津屋崎古墳群」を保存・管理するために、国県の補助を受けて公有化を行う。 本年度は、史跡地内の事業所等について、協議を重ねて土地購入及び物件移転補償を行い、公有化を進める。						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
報酬	古墳公園登記事務指導員報酬	2,088	古墳公園登記事務指導員報酬			
旅費	古墳公園登記事務指導員費用弁償	3	古墳公園登記事務指導員費用弁償			
	普通旅費	147	普通旅費（文化庁、県庁等）			
需用費	事務用品費	113	印紙代消耗品等			
役務費	通信運搬費	9	返信用切手代			
委託料	土地鑑定委託料	491	不動産鑑定業務委託			
	用地補償調査委託料	15,714	物件補償本調査業務委託			
公有財産購入費	古墳公園用地購入費	92,012	土地購入費			
補償・補填及び賠償金	物件等補償費	219,030	物件移転補償費			
	合計	329,607				
<その他財源の内訳>						

(款) 10. 教育費

(項) 6. 社会教育費

(目) 5. 文化財保護費

(単位：千円)

事業名	古墳公園建設事業費（津屋崎古墳群保存整備事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
34,173	55,908	27,295	8,188			20,425
(事業内容の説明)						
国指定史跡津屋崎古墳群について国県補助を受けながら保存整備事業を進める。 本年度は、世界遺産登録に向け来訪者対策が必要な新原・奴山古墳群について、展望所の整備を行うとともに、新原・奴山34号墳等の保存修理工事に必要な事前発掘調査及び史跡地内にある構造物の撤去を行う。 ・展望所整備工事 便所、詰所、四阿（4m×8m）等設置、展望スペース（3m×20m）整備 ・構造物撤去工事 火葬場跡コンクリート構造物撤去						
【予算の状況】 (単位：千円)						
科目等	内容	金額	備考			
共済費	労災保険料	4	現場作業員労災保険料			
賃金	発掘調査現場作業員賃金	1,035	現場作業員賃金 6,900円×150人			
旅費	普通旅費	3	職員旅費（県庁等）			
	特別調査旅費	3	県職員派遣旅費			
需用費	消耗品費	100	現場作業用消耗品等			
	印刷製本費	23	現場写真現像代			
役務費	建築確認申請等手数料	52	展望所整備建築確認申請手数料			
	ごみ処理手数料	10	投棄ごみや剪定くずの処分費			
委託料	古墳整備工事設計監理委託料	5,357	展望所整備工事実施設計業務			
工事請負費	古墳整備工事費	49,321	展望所整備工事、構造物撤去工事			
	合計	55,908				
<その他財源の内訳>						

平成29年度一般会計予算

課室名：郷育推進課

(款) 10. 教育費

(項) 6. 社会教育費

(目) 1. 社会教育総務費

(単位：千円)

事業名	アンビシャス広場推進事業費 (アンビシャス広場推進事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
1,343	1,343		400		943

(事業内容の説明)

地域や学校が連携して、地域の公民館や学校の余裕教室を活用して、放課後や休日の子どもの居場所づくりを進める。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	講師謝金	15	広場委員研修会講師謝金
	協力者謝金	28	学生イベントボランティア1,000円×28人
負担金・補助及び交付金	アンビシャス広場づくり実行委員会補助金	1,300	250,000円×4広場、100,000円×3広場
	合計	1,343	

<その他財源の内訳>

(款) 10. 教育費

(項) 6. 社会教育費

(目) 1. 社会教育総務費

(単位：千円)

事業名	通学合宿実行委員会活動支援事業費 (通学合宿実行委員会活動支援事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他
540	340				340

(事業内容の説明)

教育力向上福岡県民運動アクションプランI「実体験を重視した教育を推進しよう」を具現化する取り組み。

実行委員会を設置し、小学校1年生から6年生までの20名程度を対象に、地域の公民館等を利用して、概ね4泊5日程度の日数で、学校外の下校から登校までの日常生活に関する活動を行う。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	協力者謝金	40	大学生スタッフ1,000円×20人×2回
負担金・補助及び交付金	通学合宿実行委員会補助金	300	補助金100,000円×3団体
	合計	340	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：郷育推進課

(款) 10. 教育費 (項) 6. 社会教育費 (目) 2. 公民館費

(単位：千円)

事業名		公民館一般管理費（公民館類似施設新築等補助事業費）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
61,300	2,065				2,000	65

(事業内容の説明)

地域自治の実現に向けて、生涯学習や地域コミュニティの活動を活発化すると共にユニバーサルデザインの推進を図るため、自治公民館の新築及び増改築、改修等に福津市公民館類似施設整備費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。

- ・補助率は事業費の50%以内、補助金は限度額を上限とする。
- ・下水道排水設備事業は、100万円を上限とする。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
負担金・補助及び交付金	公民館類似施設新築等補助金	2,065	桂区練原公民館改修費
			総事業費 4,131千円
	合計	2,065	

<その他財源の内訳>

まちづくり基金 2,000千円

(款) 10. 教育費 (項) 6. 社会教育費 (目) 3. 図書館費

(単位：千円)

事業名		図書館事業費（子ども司書養成事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
93	92					92

(事業内容の説明)

子どもの読書環境を整える取り組みの一環として、読書活動を推進するリーダー（子ども司書）を養成する。

市内在住の小学4年生から6年生までの児童を対象に読書や図書館に関する理解を深めるための講義や実習など5講座を開催し、家庭や学校、地域などで読書活動推進の一翼を担う「ふくつ子ども司書」に認定するとともに、昨年度までに誕生した142人の「ふくつ子ども司書」に対するフォローアップ研修も併せて実施し、子ども司書活動の充実を図る。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	講師謝金	15	養成講座講演講師謝金 5,000円×1人
			フォローアップ研修講師謝金 10,000円×1人
	記念品代	47	子ども司書用エプロン
需用費	消耗品費	30	製本用クロステーブ等
	合計	92	

<その他財源の内訳>

平成29年度一般会計予算

課室名：郷育推進課

(款) 10. 教育費

(項) 6. 社会教育費

(目) 4. 文化事業費

(単位：千円)

事業名	複合文化センター管理運営費（複合文化センター管理運営事業）					
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
0	113,600				2,378	111,222

(事業内容の説明)

複合文化センターは、市民が自ら学び成長していく事を応援し、地域の活性化につながるなど市民の役に立ち市民が楽しめる施設運営を行う。

オープニングイベントでは記念式典・講演の開催、文化事業として各種コンサート、映画上映会、市民参加型のワークショップなどを実施。読書推進事業として講演会やお話会、歴史資料館では展示企画などを実施する。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
需用費	消耗品費	109	図書システムトナーカートリッジ
	施設修繕料	1,000	文化会館施設修繕費
役務費	通信運搬費	343	図書システム回線使用料
	公有物件災害共済掛金	229	公有物件災害共済掛金
委託料	複合文化センターオープニングイベント委託料	3,000	オープニングイベント委託料
	駐車場維持管理業務委託料	698	駐車場維持管理業務委託料
	植栽等管理委託料	1,292	植栽等管理委託料
	図書館システム保守委託料	448	図書システム保守委託料
	指定管理料	102,600	指定管理料
使用料及び賃借料	AED賃借料	25	AED賃借料
	図書館システム使用料	672	図書システムクラウド使用料
	電子計算機賃借料	3,184	図書システム機器リース料
合 計		113,600	

<その他財源の内訳>

自動販売機等設置料	90 千円
事務所貸付収入	1,691 千円
文化振興基金利子	597 千円

平成29年度一般会計予算

課室名：郷育推進課

(款) 10. 教育費 (項) 6. 社会教育費 (目) 6. 郷育推進費

(単位：千円)

事業名		カレッジ講座運営事業費 (カレッジ講座運営事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,256	2,270				248	2,022

(事業内容の説明)

地域や自分たちの住んでいるところ、ふるさとに学び育てられ、それをみんなで教え育てていくことを目的とする生涯学習講座「郷育カレッジ」を開催するもの。

7月にカリキュラムを広報に折り込み、8月に開講記念イベントの「GO!いくフェスタ」を開催。8月から3月までに約90講座を開催し、市民の受講希望者を募り、振り分け、開催後、その取得単位により表彰するなどする。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
報償費	講師謝金	988	カレッジ講座講師謝金
需用費	消耗品費	116	名札、講座用消耗品等
	事務用品費	48	事務用品費
	印刷製本費	878	カレッジ講座一覧
	医薬材料費	5	野外講座時救急用医薬品
役務費	広報折込手数料	53	講座一覧広報折込手数料
	講師派遣手数料	100	開校式講演会講師派遣手数料
	舞台装置操作手数料	44	開校式演奏会舞台操作補助員
委託料	駐車場維持管理業務委託料	12	開校式時駐車場維持管理業務委託
使用料及び賃	自動車借上料	26	イベント用トラックリース料
合計		2,270	

<その他財源の内訳>

郷育カレッジ入学金 30千円
郷育カレッジ年会費 218千円

(款) 10. 教育費 (項) 7. 保健体育費 (目) 2. 体育施設費

(単位：千円)

事業名		海洋性スポーツ施設管理運営費 (海洋性スポーツ事業)				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,608	5,308				3,174	2,134

(事業内容の説明)

宗像地区の青少年にヨットやカヤックなどの海洋性スポーツの体験をはじめ、海を取り巻く環境問題、宗像地域の海と人との歴史的な関わりなどの学習機会を提供し、郷土愛の醸成、青少年の健全育成につなげていく。宗像市との共同事業。

【予算の状況】

(単位：千円)

科目等	内容	金額	備考
役務費	損害賠償保険料	60	損害賠償保険料
	傷害保険料	611	傷害保険
委託料	海洋スポーツ大会委託料	3,820	海洋スポーツ大会等委託料
使用料及び賃借料	バス借上料	817	小学生体験モデル事業移動用バス借上料
合計		5,308	

<その他財源の内訳>

宗像市負担金 3,174千円

平成29年度一般会計予算

課室名：農業委員会事務局

(款) 6. 農林水産業費

(項) 1. 農業費

(目) 1. 農業委員会費

(単位：千円)

事業名		農業委員会一般管理費（農地集積化支援事業）				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,252	1,214		1,175			39
(事業内容の説明)						
<p>農業委員会及び協力員とともに農地利用状況の調査を年2回行い、市内の遊休農地拡大を防ぎ、また、優良農地の確保を行うため、調査結果を農地情報管理システムのデータへ反映させ、適正管理をしながら農地情報(賃貸権等)を農家へ周知する。</p> <p>また、県等の指導により、農地利用状況・意向調査を適正に実施する観点から、全農地を対象とすることとなったため、昨年まで実施していなかった他市町村在住の所有者への調査を併せて実施するため、通信運搬費を計上している。</p>						
【予算の状況】						(単位：千円)
科目等	内容	金額	備考			
報酬	農業委員会協力員報酬	378				
共済費	雇用保険料	2				
賃金	臨時雇賃金	192				
旅費	農業委員会協力員費用弁償	216				
需用費	事務用品費	63				
役務費	通信運搬費	82				
委託料	農地台帳システム改修委託料	281				
合計		1,214				
<その他財源の内訳>						

(款) 6. 農林水産業費

(項) 1. 農業費

(目) 1. 農業委員会費

(単位：千円)

事業名		農業委員会運営事業				
前年度 予算額	本年度 予算額	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,770	9,196		1,361			7,835
(事業内容の説明)						
<p>月1回の総会を開催し、農地法に定められた議案を審議する。委員会の運営事務（農地の相談、権利関係の確認、申請書の受付、議案書の作成・配布、農業委員会総会の開催、議事録の作成、県許可の案件についての県への意見書の作成と進達）を行う。</p> <p>平成29年12月に農業委員の任期満了に伴い、新農業委員(11名)が任命され、農地利用最適化推進委員(11名)が委嘱される予定。また、平成28年度に、農地利用適正化交付金が創設されたことに伴い、新農業委員と農地適正化推進委員の報酬額に活動実績に応じた額が上乘せされる予定。</p>						
【予算の状況】						(単位：千円)
科目等	内容	金額	備考			
報酬	農業委員会委員報酬	8,095				
旅費	農業委員会委員費用弁償	928				
	普通旅費	20				
	研修旅費	61				
需用費	事務用品等	92				
合計		9,196				
<その他財源の内訳>						